

# 令和2年度社会福祉法人柏崎市社会福祉協議会事業報告

## I はじめに

「共に支え、共に生きる福祉のまちづくり～個別支援から地域連携へ～」を目標に掲げ、下記の3つの柱に基づき事業を行ったが、新型コロナウイルス感染症の発生により、福祉の基本である「人と人とのつながり」が大きく制限され、事業実施に大きな影響を与えることとなった。そのような状況であっても、全職員が既存の発想にとらわれない新たな事業展開を検討するとともに、必要不可欠なサービスの継続実施に努めた。

### 1 経営基盤の強化と働き甲斐のある職場づくり

当会の使命や経営理念の明確化と経営基盤の強化を目的とした第一次発展・強化計画策定に向け、管理職による定例会議等で課題抽出等に取り組んだ。しかし、新型コロナウイルス感染症により社会のあり方が劇的に変化し、当会の事業運営においてもポストコロナを見据えた計画策定が必要となったことから、策定年度を1年延長し、令和5年度から4か年の計画策定を目指すこととなった。

また、当会の財政状況は支出超過の状態が続いており、改善には確実に収益が見込める事業に重点的な人員配置を行う必要があるが、新たな人材確保は困難を極めている。そこで、人材の流出を防止するため、職員の意向や適性を考慮した人員配置や、同一労働同一賃金を踏まえた職員の処遇改善を行った。正職員Ⅰ・Ⅱの格差の是正、職員数の適正化や中長期的な職員採用計画等、単年度での解決が難しい課題が残っているが、第一次発展・強化計画の策定と併せて検討することとした。

長年にわたり、社協の各種事業の紹介を行っていた広報誌「福祉のひろば」は、令和3年3月をもって全戸配布を終了することとなった。今後はより広い世代に向けた様々な活動紹介の場を提供し、社協活動への理解促進に努めることとした。

### 2 あたたかい心で支え合い、誰もが豊かに輝けるまちづくりの推進

4年目を迎えた第三次地域福祉活動計画の更なる推進に向けて準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症により、予定していた事業の多くを中止・延期することとなった。

福祉への理解促進やボランティア活動の振興においては、新たな生活様式がもたらす社会的孤立の増加により福祉課題の深刻化が懸念される中、感染予防と支え合う地域コミュニティづくりとのバランスを考慮した地域福祉のあり方を模索した。

権利擁護活動の推進においては、失業や休業等で収入が減少したことによる生活福祉資金、緊急小口資金、総合支援資金の相談者が急増した。度重なる制度変更や殺到する相談者への対応を行う職員の負担は大きかったが、潜在する困窮者や困窮状態に陥りやすい人々の存在を改めて認識する機会となった。

コロナ禍における生活課題への対応、個別支援の展開においては、これまで見えていなかった福祉ニーズが顕在化した。当会単独での対応には限界があるため、関係機関との連携の拡充や重点取組事業の絞り込み、財源確保策など様々な見直しが必要となった。

そこで、ポストコロナを見据え、「制度の狭間」や「社会的孤立状態」で支援を必要とする人々を誰一人取り残さない支え合いのまちづくりを目指し、令和4年度を初年度とする第四次地域福祉活動計画策定に向けた基礎調査を実施した。

### 3 つながる介護の推進

新型コロナウイルス感染症や今冬の大雪の影響により、サービスの利用を控える方が多く、介護保険事業及び障害福祉サービス事業の利用実績は大幅に減少した。

通所事業課では、厳しい事業運営が続いていたシニアエクササイズさんわの事業所廃止に向けて利用者及び関係機関に丁寧な説明を行い、予定通り 3 月末で事業所を廃止することとしたが、法人の経営は依然として厳しい状況が続いている。

経営状況の改善も重要であるが、それ以上に利用者一人ひとりが望む暮らしの実現に向けたサービスを継続させることも当会の重要な使命であることから、利用者と直接的な関わりを持つ在宅福祉サービス部門の職員は、サービス提供の場で利用者に感染させないよう細心の注意を払いながら、人と人とのつながりを大切にサービス提供を行った。

## II 令和2年度事業実施報告

### 第1 総務課

#### 第1-1 総務係

##### 1 法人運営機能の強化

###### (1) 運営体制の強化

※ ( ) 内は令和元年度の実績

###### ① 内部監査等による統制環境の充実と不正の防止

サービス情報公表確認調査の実施 . . . . . 5回

###### ② 法令遵守とモラル意識の形成

. . . . . 特定個人情報を含む個人情報の取り扱い、保管、管理を適正に行った。

###### ③ ホームページ及び福祉のひろばによる事業報告及び財務諸表、役職員組織体制等の公開

. . . . . ホームページや「福祉のひろば」7月5日号での財務諸表等を公開した。

##### 2 法人の会務運営

###### (1) 評議員会の開催 (定数 14 人以上 17 人以内：現員 17 人) . . . . . 3回

開催日	出席人数	議 事
6月17日	評議員 15人 監事 2人	承第1号 令和元年度事業報告の認定について 承第2号 令和元年度決算の認定について 以上、総員異議なく、原案どおり承認された。 議第1号 令和2年度資金収支補正予算(第1号)について 以上、総員異議なく、原案どおり議決された。 選第1号 理事の選任について 以上、総員異議なく、原案どおり選任された。
12月16日	評議員 13人	議第2号 令和2年度資金収支補正予算(第2号)について 議第3号 生活支援復興基金の廃止について 以上、総員異議なく、原案どおり議決された。
3月17日	評議員 14人	議第3号 令和2年度資金収支補正予算(第3号)について 議第4号 令和3年度事業計画について 議第5号 令和3年度資金収支予算について 議第6号 定款の一部改正について 以上、総員異議なく、原案どおり議決された。 報第1号 事務局長の選任について

###### (2) 理事会の開催 (定数 10 人以上 13 人以内：現員 13 人) . . . . . 3回

開催日	出席人数	議 事
5月27日	理事 10人 監事 2人	承第1号 令和元年度事業報告の認定について 承第2号 令和元年度決算の認定について 以上、総員異議なく、原案どおり承認された。 議第1号 令和2年度資金収支補正予算(第1号)について 議第2号 居宅介護事業所(移動支援事業)運営規程の一部改正について 議第3号 赤坂山デイサービスセンター運営規程の一部改正について 議第4号 北条デイサービスセンター運営規程の一部改正について 議第5号 定時評議員会の招集の決定について 選第1号 評議員候補者の推薦提案について

		<p>議第 6 号 評議員選任・解任委員会の招集の決定について 以上、総員異議なく、原案どおり議決された。</p> <p>選第 2 号 理事候補者の推薦提案について 以上、総員異議なく、原案どおり選任された。</p> <p>報第 1 号 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について</p>
12 月 9 日	理事 13 人 監事 2 人	<p>議第 7 号 令和 2 年度資金収支補正予算（第 2 号）について</p> <p>議第 8 号 生活支援復興基金の廃止について</p> <p>議第 9 号 生活支援復興基金設置規程の廃止について</p> <p>議第 10 号 ボランティア基金設置規程の一部改正について</p> <p>議第 11 号 福祉基金の設置及び管理運用に関する規程の一部改正について</p> <p>議第 12 号 評議員会の招集の決定について 以上、総員異議なく、原案どおり議決された。</p> <p>報第 2 号 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について</p>
3 月 10 日	理事 12 人 監事 2 人	<p>議第 13 号 令和 2 年度資金収支補正予算（第 3 号）について</p> <p>議第 14 号 令和 3 年度事業計画について</p> <p>議第 15 号 令和 3 年度資金収支予算について</p> <p>議第 16 号 定款の一部改正について</p> <p>議第 17 号 定款施行細則の一部改正について</p> <p>議第 18 号 評議員選出規程の一部改正について</p> <p>議第 19 号 役員選任規程の一部改正について</p> <p>議第 20 号 役員・評議員及び各種委員の報酬等に関する規程の一部改正について</p> <p>議第 21 号 会員規程の一部改正について</p> <p>議第 22 号 事務局規程の一部改正について</p> <p>議第 23 号 事務決裁規程の一部改正について</p> <p>議第 24 号 経理規程の一部改正について</p> <p>議第 25 号 就業規則の一部改正について</p> <p>議第 26 号 給与規程の一部改正について</p> <p>議第 27 号 職員の定年等に関する規程の一部改正について</p> <p>議第 28 号 職員私有自動車業務使用規程の一部改正について</p> <p>議第 29 号 公印規程の一部改正について</p> <p>議第 30 号 職員介護休業等に関する規程の一部改正について</p> <p>議第 31 号 児童クラブ運営規程の一部改正について</p> <p>議第 32 号 居宅介護事業所運営規程の一部改正について</p> <p>議第 33 号 相談支援事業所おうぎまち運営規程の一部改正について</p> <p>議第 34 号 指定就労継続支援 B 型運営規程の一部改正について</p> <p>議第 35 号 シニアエクササイズさんわ地域密着型通所介護事業運営規程の廃止について</p> <p>議第 36 号 シニアエクササイズさんわ通所型サービス（介護予防通所介護相当サービス）運営規程の廃止について</p> <p>議第 37 号 シニアエクササイズさんわ通所型サービス A（緩和した基準によるサービス）運営規程の廃止について</p> <p>議第 38 号 評議員会の招集の決定について 以上、総員異議なく、原案どおり議決された。</p> <p>選第 3 号 事務局長の選任について 以上、総員異議なく、原案どおり選任された。</p>

(3) 評議員選任・解任委員会の開催 . . . . . 1 回

開催日	議 事
6 月 3 日	評議員の選任について

(4) 監査の実施 . . . . . 2回

開催日	名称	議 題
5月18日	決算監査	令和元年度決算
11月9日	現金出納監査	令和2年度上期事業報告及び現金出納監査

(5) 地域福祉委員会、在宅福祉サービス委員会の開催 . . . . . 1回

開催日	名称	議 題
2月8日	地域福祉委員会 在宅福祉サービス委員会	令和3年度事業計画(案)について 令和3年度資金収支予算(案)について

(6) 第三者委員会の開催 . . . . . 2回

開催日	議 題
5月26日	令和元年度下期 苦情・事故等の発生状況について 苦情11件、事故66件、ヒヤリハット210件
11月26日	令和2年度上期 苦情・事故等の発生状況について 苦情12件、事故56件、ヒヤリハット264件

※年間総数 苦情23件、事故97件、ヒヤリハット660件(苦情35件、事故188件、ヒヤリハット379件)

(7) 先進地役職員視察研修会及び新潟県民福祉大会の参加

- ① 先進地役職員視察研修会 . . . . . 中止
- ② 新潟県民福祉大会への参加(新潟市):10月14日 . . . . . 被表彰者のみ参加 7人

(8) 第一次発展・強化計画の策定 . . . . . 11回

開催日	会議名	出席者	協議内容
4月13日	会長～管理職 合同会議	会長 常務理事 事務局長 課長	発展強化計画のワーキングチームの分類について、総務・人事部:総務課、地域福祉・福祉サービス利用支援部:地域福祉課・介護支援事業課、在宅福祉サービス部:訪問事業課、通所事業課、こども支援課の分類にしたいという素案を報告。
5月27日	管理職会議	会長 事務局長 課長	計画や現状の把握の指標について検討。定量的評価が難しい総務・地域福祉課はKPI指標による評価を検討することとした。
6月8日	会長～管理職 合同会議	会長 常務理事 事務局長 課長	社協・介護サービス事業経営の手引きの活用について、総務課から提案。在宅福祉サービス部門において、活用の是非を検討することとした。
7月13日	会長～管理職 合同会議	会長 常務理事 事務局長 課長	市区町村社協経営指針で示された「市区町村社会福祉協議会の使命、経営理念、基本方針」を発展計画のベースに位置付けたいと提案。管理職以上の職員から理解を深めていくこととした。
8月11日	管理職合同会 議	事務局長 課長	コロナ禍にあり、将来ビジョンが見通せない状況の中、5か年の発展強化計画を策定できるのかという懸念が生じ、今後の対応について協議。「もう少しコンパクトな計画に変更してはどうか。地域福祉活動計画と併せて5か年で策定したいと思っていたが、目標達成度に応じて見直しや延長してはどうか」との意見を踏まえ、過程は変わっても、目指すゴールはコロナに影響されるものではないので、100%は求めず、スケ

			ジュールを修正して、計画策定は実施することとした。
10月19日	在宅福祉サービス部門運営会議	課長 課長代理 係長	発展強化計画の趣旨、今後の策定体制、参考資料等について説明。
10月27日	総務課 SWOT分析会	事務局長 総務課職員	事務局長及び総務課職員でSWOT分析を実施。
10月28日	会長～管理職合同会議	会長 常務理事 事務局長 課長	総務課のSWOT分析実施内容を報告。今後、各部署でもSWOT分析を実施することとした。
11月2日	課長会議	課長	課長出席。SWOT分析を実施。
11月12日	管理職会議	常務理事 事務局長 課長	常務、局長、課長出席。SWOT分析の実施を予定していたが、他の緊急案件のため検討を延期。
11月17日	管理職会議	課長	課長出席。SWOT分析の実施を予定していたが、他の緊急案件のため検討を延期。

### 3 職員の育成・組織力の向上

#### (1) 福祉・介護・看護等人材の確保・育成・処遇の改善

##### ① 適切な人員配置と中長期採用計画の策定

・・・・・・・・・・中長期採用計画を、第一次発展・強化計画の中に位置づけて策定することとした。

##### ② 専門職・介護職の確保・育成・定着

###### ア 職員の採用

正職員	契約職員	非常勤職員	嘱託職員	合計
8人	6人	14人	0人	28人

###### イ 職員の退職

正職員	契約職員	非常勤職員	嘱託職員	合計
5人	5人	16人	2人	28人

ウ デイサービスセンター職場見学会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3回

##### ③ 障がい者雇用等の促進

###### ア 高齢者等の雇用の安定等の取組み

・・・・・・・・・・ 60歳以上の雇用職員 嘱託16人、非常勤67人（嘱託12人、非常勤38人）

イ 障がい者雇用の取組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 非常勤5人（嘱託2人、非常勤3人）

##### ④ 職員紹介制度による採用募集活動の充実・強化・・・・・・・・・・ 制度活用 1人、採用実績0人

#### (2) 職員の資質向上と育成

##### ① 人事考課制度の効果的運用と育成面接による目標管理

ア 正職員を対象にDO-CAPシートを活用した育成面接・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2回

###### イ 管理職による業務の進捗管理と内部統制の強化

(ア) 課長会議の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23回（12回）

(イ) 会長・課長合同会議の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12回（12回）

(ウ) 係長級以上の役職員へのヒアリングの実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6月、10月、2月

##### ② 雇用契約職員への自己点検シートによる育成面接の導入

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 大幅な人事考課制度の見直しが必要であるため今年度の導入を延期

- ③ 各種研修機会の提供と充実 . . . . . オンライン研修の受講を推奨
- ④ 国家資格をはじめとする各種資格取得の助成 . . . . . 介護福祉士 3 人 (社会福祉士 1 人)
- (3) キャリアアップ制度の推進
  - ① 国家資格等有資格者の正職員への登用推進 . . . . . 1 人 (0 人)
  - ② 非常勤職員から常勤職員へのステップアップの奨励 . . . . . 1 人 (2 人)
  - ③ 雇用契約職員の無期転換後の労働環境整備 . . . . . 平成 31 年 4 月から継続実施
- (4) 職員研修会の企画開催
  - ① 管理職・指導職対象の研修会の開催 . . . . . 中止
  - ② モラル研修会の企画・開催 . . . . . 中止

#### 4 健康で安心して働き続けられる労務環境の推進

##### (1) ワーク・ライフ・バランスの推進及び健康支援

###### ① 安心して意欲的に働ける労働環境の整備

###### ア 計画付与を含めた年次有給休暇及び夏季休暇等の特別休暇の取得推進

- (ア) 夏季休暇 . . . . . 237 人
- (イ) 療養休暇 . . . . . 5 人 431 日
- (ウ) 忌引き . . . . . 31 人 114 日
- (エ) 結婚休暇 . . . . . 取得実績なし
- (オ) 通院休暇 . . . . . 1 人 1 日
- (カ) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を目的とする特別休暇 . . . . . 36 人 175 日

###### イ 育児休業・介護休業制度等の周知と取得の促進

- (ア) 育児休業の取得 . . . . . 5 人 (7 人)
- (イ) 子の看護休暇取得 . . . . . 6 人 (10 人)
- (ウ) 介護休暇の取得 . . . . . 1 人 (0 人)

###### ウ 各種助成金制度の取得推進、支援

- (ア) 高年齢者雇用継続給付金 . . . . . 対象者 19 人 (17 人)、支給件数 46 件 (65 件)
- (イ) 育児休業給付金 . . . . . 対象者 4 人 (6 人)、支給件数 24 件 (40 件)
- (ウ) キャリアアップ助成金 . . . . . 支給実績なし
- (エ) 特定求職者雇用開発助成金 . . . . . 対象者 2 人 (2 人)
- (オ) 出産手当金 . . . . . 対象者 3 人 (2 人)
- (カ) 傷病手当金 . . . . . 対象者 1 人 (0 人)

###### エ 年休取得義務化による計画的取得の推進及び年休取得率の向上

###### (ア) 年次有給休暇取得日数 (日)

正職員	契約職員	非常勤職員	嘱託職員	合計
1,478 (1,264)	535 (428)	1,398 (1,305)	231 (245)	3,642 (3,242)

###### (イ) 年次有給休暇取得率 (%)

正職員	契約職員	非常勤職員	嘱託職員	合計
36.0 (32.9)	46.2 (42.5)	53.1 (53.8)	50.0 (53.1)	46.3 (47.0)

###### オ ハラスメント防止に係る相談窓口の設置 . . . . . 総務課を相談窓口として周知

###### ② 心と体の健康支援

###### ア 定期健康診断等による健康障害の早期発見、要精密検査者への受診勧奨の実施

- (ア) 健康診断の受診 . . . . . 6 月～7 月実施、199 人受診
- (イ) 人間ドックの受診 . . . . . 8 月～12 月実施、90 人受診
- (ウ) 要精密検査者への受診勧奨 . . . . . 再検査項目該当者には職免にて受診勧奨

###### イ 感染症対策及び予防接種の実施

- (ア) インフルエンザ予防接種の実施 . . . . . 304人 (294人)
- (イ) 新型コロナウイルス感染症対策
  - ・職員へのマスク配布 . . . . . 314人、総数 約46,000枚
  - ・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業支援金支援金を活用した感染予防対策用品等の購入 . . . . . 総額 9,408,000円
  - ・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業慰労金 . . . . . 支給対象者282人  
(内当会職員263人)、支給総額14,100,000円

③ 衛生委員会における衛生活動の推進及び労働災害の防止 . . . . . 労災発生件数5件

ア 安全衛生や健康管理の諸問題に関する調査・審議の実施

- (ア) 衛生管理体制会議 . . . . . 2回 (2回)
- (イ) 衛生委員会 . . . . . 12回 (12回)
- (ウ) 交通事故発生情報等の周知、注意喚起の実施 . . . . . 社内掲示版にて周知 3回
- (エ) 衛生委員会研修会 (交通安全、腰痛予防、メンタルヘルス) の開催 . . . . . 中止 (3回)

イ 心の健康に関するメンタルヘルス研修の実施

ウ ストレスチェックの実施と高ストレス者への対応

. . . . . 柏崎市総合福祉センター勤務職員62人、扇町介護保険事業センター78人中4人が高ストレス者と診断された。但し、医師との面談の対象者はなし。(扇町92人中6人)

④ 安全運転管理者の設置と交通労働災害の防止

- ア 設置事業場の車両の管理・整備の実施 . . . . . 各事業場で実施
- イ 運行計画や運行日誌の作成及び安全運転に関する管理・指導の実施 . . . . . 各事業場で実施

(2) 働き方改革の推進と処遇の改善

① 同一労働同一賃金に向けた給与体系の改善

- ア 正規・非正規等雇用形態にかかわらず均等・均衡待遇への改善  
. . . . . 正職員110人に対しアンケートを実施し、処遇の改善に向けて検討を開始した。

② 介護職員処遇改善加算を原資とした処遇改善の実施

- ア 算定する加算の検討 . . . . . 10月から新たに障害福祉サービスにおいて加算Ⅳを算定した。
- イ 一時手当金支給等に係る諸手続きの実施  
. . . . . 6月交付額2,303,000円、支給対象者89人、1月交付額4,399,100円、支給対象者111人

③ 人事院勧告に基づく正職員の処遇改善

. . . . . 厳しい経営状況を鑑み、管理職のみを対象に、期末手当を引き下げた。

5 会員会費制度の実施

- (1) 会員加入率の向上推進 . . . . . 9月25日地区代表者への説明会開催  
当会の広報紙や会員加入促進運動のチラシ等で会費の用途を周知し、加入率向上に努めたが、市民への理解が広がらず、加入率は横ばいであった。

(2) 会員会費制度の推進

社会福祉協議会会員会費制度については、特別会員加入の特典として本会のホームページや広報紙への広告掲載を行い、新たな企業、団体からも加入の申出があった。

- ① 一般会費 . . . . . 10,841,612円 (10,903,877円)

内訳	町内会数	加入世帯数
一括納入での会員加入	205町内会 (200町内会)	—
戸別封筒での会員加入	98町内会 (102町内会)	21,653件 (27,841件)
合計	303町内会 (302町内会)	

② 賛助会費及び特別会費

種 別	口 数	会費額 (円)	人数・件数
賛助会費：1口 500円	812 (766)	406,000 (383,000)	452 (426)
特別会費：1口 5,000円	164 (170)	820,000 (850,000)	71 (74)
合 計	976 (936)	12,067,612 (1,233,000)	523 (500)

(3) 広報・啓発活動

- ① ホームページの管理、各種情報の発信 . . . . . 32回 (31回)
- ② 広報紙「福祉のひろば」の発行 . . . . . 6回 (6回)
- ③ 職員採用や寄付募集に係る広告・宣伝の実施 . . . . . 採用募集6回、寄付募集4回
- ④ 寄付、共同募金、社協会費及び社協諸活動への理解や共感の促進を目的とした訪問及びプレゼンテーションの実施 . . . . . 4回

- 6 社会福祉協議会長表彰の実施 . . . . . 9月2日
- (1) 民生委員・児童委員表彰 . . . . . 9人
  - (2) 社会福祉団体役員表彰 . . . . . 該当なし
  - (3) 社会福祉活動優良表彰 (団体・個人) . . . . . 該当なし
  - (4) 社会福祉事業協力表彰 . . . . . 該当なし
  - (5) 永年勤続表彰 . . . . . 21人
  - (6) 寄付感謝状の贈呈 . . . . . 該当なし

7 指定管理事業

(1) 柏崎市総合福祉センター

障がい者、高齢者、児童、ひとり親家庭等、地域福祉推進を活動の目的とする団体等に対し、福祉センターの利用を促進し、活動の場の提供を行った。利用室毎に定員を設け、利用開始前の検温、利用後の部屋の消毒を依頼し、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めた。(4月1日～5月18日間は、全館休館)

① 総合福祉センター年間利用状況

会議研修室	調理実習室	研修室和室	会議室 (1)
2,942人 (5,272人)	0人 (1,288人)	1,438人 (4,429人)	1,820人 (4,396人)
会議室 (2)	作業研修室	プレイルーム	ボランティア図書室・集会室
1,745人 (5,059人)	5,954人 (7,471人)	5,049人 (4,985人)	2,164人 (2,803人)
相談室	第三会議室	その他	合 計
234人 (314人)	1,096人 (1,355人)	0人 (938人)	22,442人 (38,310人)

使用料金徴収額 . . . . . 123,244円 (311,984円)

- 8 柏崎市共同募金委員会への協力 . . . . . 10月～12月
- (1) 募金総額 . . . . . 14,919,738円 (16,280,148円)
- 9 日本赤十字社柏崎市地区への協力 . . . . . 6月～8月
- (1) 協力金総額 . . . . . 10,943,495円 (10,826,652円)
  - (2) 救援物資の配布 . . . . . 3件

## 第1-2 経理係

### 1 経営体制と財務基盤の強化

- (1) 中長期の各種積立計画及び大規模修繕計画策定の取り組み  
 ・ ・ ・ ・ ・ 第一次発展・強化計画の策定に併せて取り組みを行うこととした。
- (2) 内部統制の強化及び不正防止 ・ ・ 組織編制を見直し、総務課総務係、経理係の統合を決定した。
- (3) コスト削減に関する検討及び実行体制の構築 ・ ・ ・ 令和3年度予算策定に際し、削減可能なコストの洗い出しを行い、消耗品や印刷製本費など各勘定科目で5~20%程度の削減を行った。
- (4) 経営判断に資する財務資料等の作成及び報告を行った。

### 2 適正な会計業務の実施

- (1) 会計基準に基づく適正な会計処理を行った。
- (2) 顧問会計事務所による定期監査 ・ ・ ・ ・ ・ 12回 (8回)
- (3) 寄付金品の収受及び集計管理

種別	件数	金額 (円)	備考
個人 (現金)	28	1,052,597	
法人・団体 (現金)	11	1,495,730	
個人 (物品)	7	時価評価 295,020	フェイスシールド、ギフトカード
法人・団体 (物品)	17		食材料、タオル、マスク他

- (4) 各種税金に関する申告・徴収・納税
- ① 消費税 ・ ・ ・ ・ ・ 7,687,600円

### 3 介護報酬請求及び各種申請、届出等に関する事務の実施

- (1) 介護報酬・利用者負担金等の請求管理・入金管理を徹底した。  
 3月31日時点未納・滞納者及び金額 ・ ・ ・ ・ ・ 7人 84,723円
- (2) 各種届出書を作成し、提出した。

## 第2 地域福祉課 (地域福祉係・生活支援係・高柳支所・西山支所)

### 第2-1 地域福祉係

#### 1 地域特性に応じた地域福祉事業の展開

- (1) 第三次地域福祉活動計画に沿った事業の展開と進捗管理
- ① 地域福祉活動計画の周知・進捗管理
- ア 推進会議による進捗管理 ・ ・ ・ ・ ・ 6月2日、10月9日、3月2日
- イ 研修会の開催 ・ ・ ・ ・ ・ 中止
- ② 第四次地域福祉活動計画策定に向けた基礎調査の実施 (柏崎市と共同実施)
- ア 地区懇談会の実施 ・ ・ ・ ・ ・ 中止
- イ 各種聞き取り調査の実施
- (ア) 市内コミュニティセンター (31箇所) 及び関係団体 (20団体) に実態調査実施  
 ・ ・ ・ ・ ・ 9月23日~11月20日
- (イ) 市内福祉団体 (分野別4箇所)、市内コミュニティセンター (1箇所) にヒアリング実施  
 ・ ・ ・ ・ ・ 11月10日~11月25日
- ③ コミュニティワーカーの地区担当制強化
- ア 地域情報の収集・地域の生活課題の把握

- (ア) 地域ケア会議等への参加 . . . . . 26回 (32回)
- イ 地区福祉組織が実施する支え合い事業の運営支援
  - (ア) 地区福祉組織への活動費の助成 . . . . . 29団体 (29団体)
  - (イ) 地域ふれあいサロンへの活動費の助成 . . . . . 93団体 (91団体)
  - (ウ) 地域食事サービスを実施する団体に活動費を助成 . . . . . 16団体 (17団体)
- ウ 地区福祉組織、ふれあいサロン運営者研修会の開催
  - (ア) 地区福祉組織研修会 . . . . . 中止
  - (イ) ふれあいサロンボランティア研修会：1月26日 . . . . . 38人 (83人)
  - (ウ) 地域食事サービスボランティア研修会 . . . . . 中止 (19人)
- エ 関係機関（市民活動支援課等）との連絡会議の開催
  - . . . . . 「柏崎市のコミュニティセンターの歴史や役割」をテーマに係内研修を開催

④ 地域住民による支え合い活動の支援

- ア 地域包括ケアシステム推進のためのプロジェクトへの参加
- イ 第二層協議体設置への協力（地域包括支援センター、生活支援コーディネーターとの連携）
  - (ア) 地域の支え合い推進会議への参加 . . . . . 5回
  - (イ) たかやなぎ支え合い会議の開催 . . . . . 1回

⑤ 気軽に集える場、交流の場を地域につくる支援

- ア ふれあいサロン、子育てサロンの立上げ及び運営支援 . . . . . 立上げ相談0件
- イ 福祉センターお茶のみサロン . . . . . 33回開催 延421人 (45回開催延べ691人)
- ウ 地域で生活する障がい者とボランティアによる料理交流会の開催協力

今後の活動再開の見通しが立たないことから、団体からの意向により事業を終了することとした。

(2) ふれあい総合相談所の設置

相談名	相談日	相談件数
心配ごと相談	毎週月・火・木・金曜日	220件 (240件)
法律相談	毎月第1・第3火曜日	58件 (76件)
司法書士相談	毎月第4木曜日	29件 (37件)
行政書士相談	奇数月第3木曜日	7件 (13件)
合 計		314件 (367件)

- ① 市内相談機関との連携・協力・意見交換会の開催 . . . . . 12月14日

② ふれあい総合相談所の運営に関する広報

- ア 福祉のひろばへの定期的な相談事業の記事掲載 . . . . . 4回 (6回)
- イ 市民向け啓発講演会の開催 . . . . . 中止

(3) ふれあい給食サービス事業

① 毎日型給食サービスの実施

配達日	月曜日～日曜日（祝日及び年末年始を除く） 延配達日数 347日 (341日)
配達数	延べ35,312食 年間実人数 2,234人 月平均人数 186人 (延べ42,326食 年間実人数 2,850人 月平均人数 237.5人)

(4) こども食堂・地域食堂の推進

① こども食堂・地域食堂の立ち上げ支援

ア 立上げ助成の実施

団体名	助成年数	助成額	開催地区
陽気なごはん実行委員会	3年目	60,000円	寿町
半田こども食堂	3年目	60,000円	半田

② 既存の活動を有効に継続していくための支援

ア こども食堂から地域食堂への展開

(ア) 福祉センターこども食堂 . . . . . 今後の展開についてアンケート調査を実施し、市内に自主的にこども食堂を立ち上げている団体が増加していることから、福祉センターを会場としたこども食堂の運営を終了することとした。

(イ) こども食堂、地域食堂の運営を住民主体で継続できる支援

- ・比角こども祭り：8月3日 . . . . . 参加者 65 人
- ・北園町こども食堂：10月17日 . . . . . 参加者 70 人

③こども食堂・地域食堂研修会及び連絡会の開催

- ア こども食堂ミーティング：3月16日 . . . . . 12人(10人)
- イ こども食堂連絡会 . . . . . 未実施(9人)

(5) 広報・啓発活動

① 広報イベント「わいわいがやがやフェスティバル」 . . . . . 中止(938人)

② 社会福祉協議会を多くの市民に知ってもらうための新規企画の検討  
. . . . . 任意団体「お仕事体験塾」との協働による訪問入浴介護事業所PR動画を作成

③ ホームページや SNS 等を活用した地域福祉・ボランティア情報の発信

- ア ホームページの活用 . . . . . 3月31日現在アクセス累計 18,908件(17,837件)
- イ FACEBOOK ページの運用 . . . . . 3月31日現在アクセス累計 9,393件(17,467件)

④ かしわざきめぐりあい事業実施

- ア 実行委員会の運営 . . . . . 4回(3回)
- イ 出会いイベントの開催

イベント名	開催状況	実績
TEAEMSEMBLE でアフタヌーンティー	中止	
仲間と一緒に Fitness×秋の八石山ハイキング	中止	
クッキング教室	9月12日開催	参加者 18 人、マッチング 3 組
クリスマスパーティー	延期	
クリスマスパーティー代替企画 HARUPARTY	3月13日開催	参加者 25 人、マッチング 5 組
おとなやでおとなの飲み会	中止	

ウ 女性が参加しやすい事業の実施

オトナ女子カレッジ：8月22日、10月2日、11月22日、3月13日 . . . . . 参加者 6 人

エ 実施結果の分析と今後の実施方法についての検討

. . . めぐりあい事業の事業効果測定と今後の方向性について、子育て支援課と意見交換を実施

(6) 福祉団体等への活動支援 . . . . . 事務局業務の委託を受け、各団体の運営を支援した。

- ① 柏崎市老人クラブ連合会
- ② 柏崎市手をつなぐ育成会
- ③ 柏崎市母子寡婦福祉やまゆり会
- ④ 柏崎市ボランティア連絡協議会
- ⑤ その他福祉関係団体

2 ボランティアセンター運営事業

(1) 運営体制の充実

- ① ボランティアセンター運営委員会の開催 . . . . . 2回(4回)
- ② ボランティアセンター運営委員先進地視察 . . . . . 中止(9人)

(2) ボランティア活動の相談支援

- ① ボランティア活動を希望する個人・団体への相談及び支援 . . . . . 534件(970件)

② ボランティア登録、ボランティア保険加入手続きの受付及び保険料の一部助成

- ア ボランティア登録 . . . . . 72 団体 1,433 人、個人 34 人 (92 団体 1,922 人、個人 119 人)
- イ ボランティア活動保険 . . . . . 加入者：1,197 人 (団体：1,134 人、個人：47 人、天災：16 人)
- ウ その他保険加入 . . . . . ボランティア行事用保険 12 件、送迎用保険 6 件、福祉総合補償 4 件

(3) ボランティア体験月間の実施

① ボランティア体験月間

- ア サマーチャレンジボランティア：7 月末～8 月 . . . . . 中止 (137 人)
- イ 24 時間テレビチャリティ募金への参加協力：8 月 23 日 . . . . . 2 人 (22 人)

(4) ボランティア養成講座

- ① 各種ボランティア講座 . . . . . 中止 (83 人)
- ② ボランティアコーディネーター養成講座 . . . . . 中止 (21 人)

(5) ふくし・ボランティアの出前講座

- ① ボランティア体験プログラム . . . . . 開催なし (0 回)
- ② 高齢者疑似体験や福祉講話等の出前講座の開催 . . . . . 開催なし (0 回)

(6) 障がい理解講座 . . . . . 中止 (35 人)

(7) ボランティア交流会の開催

- ① ボランティア大交流会 . . . . . 中止 (中止)
- ② Mini ミニ講座 . . . . . 開催終了 (11 回開催 延 110 人)

(8) 災害支援活動事業

① 柏崎地域生活応援事業 (除雪ボランティア事業)

- ア 地区民協、町内会長会、除雪会議への事業の周知 . . . . . 11 回 (38 回)
- イ 除雪ボランティアセンターの設置及び運営 . . . . . 12 月 1 日～3 月 31 日
  - (ア) 除雪ボランティア登録者 . . . 15 人【内訳：市内 15 人】、2 団体  
(20 人【内訳：市内 15 人、市外 2 人、県外 3 人】)、0 団体

(イ) 除雪ボランティア活動状況

除雪ボラ問合せ	活動件数	ボラ活動延べ人数	職員延べ人数
159 件 (88 件)	18 件 (0 件)	90 人 (0 人)	35 人 (0 人)

(ウ) 民生委員児童委員協議会地区別活動件数内訳

比角地区	南部地区	東地区	中南鯖石地区	高柳地区	計
1 件	8 件	1 件	7 件	1 件	18 件 (0 件)

- (エ) 除雪ボランティアコーディネーターの委嘱 . . . . . 3 人 (4 人)
- (オ) 落とし板の取り付け、取り外し事業 . . . . . 4 件 (14 件)
- (カ) 地域での除雪を助け合い活動につなげるための懇談会の実施  
. . . . . 未実施

② 県内外で発生する自然災害等の復旧支援活動

- ア 災害発生時のボランティアセンターの設置
  - (ア) 柏崎市豪雪救援ボランティアセンターの設置  
. . . . . 令和 3 年 1 月 11 日 (月) 午前 9 時 00 分～令和 3 年 3 月 12 日 (金) 午後 12 時 30 分
  - (イ) 全国各地で発生する災害情報の収集及び発信 . . . . . 近県での大規模災害発生なし
  - (ウ) 被災地災害ボランティアセンターへの職員派遣 . . . . . 0 人 (1 人)

3 福祉教育推進事業

(1) 福祉教育推進プログラムの活用と周知

- ① 小・中学校の教員への福祉教育推進プログラム活用提案の展開
  - ア プログラムの実施 ・・小学校 3校 延べ8回、中学校 3校 延べ8回、高校1校 1回  
(小学校 10校 延べ21回、中学校 7校 延べ16回、高校1校 1回)
- ② 福祉教育推進プログラムの効果的な実施
  - ア 校長会への提案 ・・・・・ 不参加
- ③ 多くの学校からプログラムを取り入れてもらえるような計画的な実施の検討
  - ・ 福祉教育プログラムについて市内小中高校・特別支援学校(38校)へのアンケート調査を実施した
- (2) 福祉教育プログラム体験講座 ・・・・・ 開催なし

#### 4 指定管理・施設管理事業

##### (1) 指定管理事業(建物、設備等の維持管理及び付随事務)

###### ① 高齢者生活支援施設結の里

ア 入居部門(定員25人) ・・・・・ 3月31日現在19部屋(20人)

###### (ア) 季節行事の実施

- ・安全講話:中止
- ・お花見ドライブ:中止
- ・笹団子を食べる会:6月17日
- ・七夕のつどい:中止
- ・敬老会:9月18日
- ・ミニ運動会:中止
- ・紅葉ドライブ:11月12、13日
- ・クリスマス:12月20日
- ・新年会:1月8日
- ・豆まき:2月2日
- ・おひなまつり:3月3日

###### イ 施設管理

(ア) 交流室利用回数 ・・・・・ 248回、延1,037人(268回、延2,002人)

(イ) 調理室利用回数 ・・・・・ 245回、延990人(263回、延1,942人)

(ウ) サロン利用人数 ・・ 2階延1,655人、3階延1,051人(2階延2,480人、3階延1,532人)

###### ウ 地域懇談会等地域内の生活課題の把握

(ア) ミニケア会議への参加 ・・・・・ 8回(2回)

(イ) まめまめ講座への参加 ・・・・・ 2回(5回)

(ウ) 高柳地区民生委員・児童委員協議会への参加 ・・・・・ 11回(12回)

(エ) 高柳を育てる会への参加 ・・・・・ 1回(2回)

(オ) たかやなぎ支えあい会議:8月25日 ・・・・・ 31人

② 高齢者用冬期共同住宅ひだまり ・・・・・ 建物、設備等の維持管理業務。入居者実績なし

##### (2) 施設管理事業

① 西山町いきいき館 ・・・・ 施設受付業務(利用申請の受付、施設案内、電話対応等の窓口業務)

#### 5 共同募金配分金事業

##### (1) 一般募金配分金事業

① 新一年生お祝い事業を実施した ・・・・・ 市内小学校新入生に鉛筆贈呈560人(586人)

② 名入れカレンダー製作・配布 ・・・・・ 製作2,500本(2,650本)

##### (2) 歳末たすけあい募金配分金事業

###### ① おせち料理配達事業

事業内容を変更し「年末食の確保事業」として、ふれあい給食利用者に12月30日に配食。131食。

### 第2-2 生活支援係

#### 1 生活困窮者自立支援事業

##### (1) 生活困窮者自立支援事業の受託

① 困窮者からの相談及び包括的に対応する自立相談支援事業の実施と事業周知

ア 相談者実数 ・・・・・ 450人(221人)

- イ 相談対応延回数 . . . . . 2,895回 (2,696回)
- ② 家計相談支援事業、就労準備支援事業、子どもの学習・生活支援事業の実施
  - ア 家計相談支援事業利用者 . . . . . 53人 (78人)
  - イ 就労準備支援事業利用者 . . . . . 0人 (0人)
    - (ア) フリースペースぶらっと開催 . . . . . 8回 (22回)
    - (イ) 延べ当事者参加数 . . . . . 33人 (125人)
  - ウ 子どもの学習・生活支援事業の実施
    - (ア) 訪問型利用者 . . . . . 7月15日から活動再開。24人、延616回 (18人延べ569回)
    - (イ) 集合型学習支援 (夏・冬・春休み) . . . . . 20日、延115人 (30日延べ134人)
    - (ウ) 協力員登録者数 . . . . . 31人 (21人)
- ③ ひきこもり、孤立ケース等の相談、援助 . . . . . 10人
- (2) 生活福祉資金貸付事業の受託
  - ① 借入希望者への相談対応
    - ア 生活福祉資金相談件数 . . . . . 延べ729件 (103件)
    - イ 貸付件数
      - (ア) 緊急小口資金 . . . . . 申し込み2件、決定2件 (0件)
      - (イ) 生活福祉資金 . . . . . 申し込み1件、決定1件 (0件)
      - (ウ) 緊急小口資金 (特例貸付) . . . . . 申し込み132件、決定131件 (0件)
      - (エ) 総合支援資金 (特例貸付) . . . . . 申し込み27件、決定22件 (0件)
  - ② 滞納者への償還通知 . . . . . 13件、償還実績なし
- (3) 自殺予防のための相談支援体制の強化
  - ① 関係機関との連携
    - ア 関係機関とのケア会議・打合せ . . . . . 100回 (123回)

## 2 日常生活自立支援事業

- (1) 日常生活自立支援事業の推進
  - ① 利用者個々の生活にあったアセスメントとサービスの提供
    - ア 新規契約 . . . . . 12人 (30人)
    - イ 契約終了 . . . . . 29人 (34人)
    - ウ 契約に至らない相談 . . . . . 22人 (16人)
    - エ 3月31日現在利用者数 . . . . . 161人 (179人)
  - ② 虐待ケースの相談、援助
    - ア 上記新規契約のうち虐待や搾取から保護するための契約 (再掲) . . . . . 0人 (2人)
    - イ 3月31日現在利用者数 (再掲) . . . . . 6人 (6人)
  - ③ 地域包括支援センターや障害者等相談支援事業所、居宅介護支援事業所等の連携
    - ア ケア会議の参加 . . . . . 101回 (141回)
  - ④ 新潟県社会福祉協議会日常生活自立支援事業の市町村社協事業への移行
    - ア 新潟県社会福祉協議会日常生活自立支援事業利用者 (3月31日現在) . . . . . 5人 (5人)
    - イ 専門員訪問 . . . . . 23回
    - ウ 研修会等 . . . . . 4回
- (2) 事故防止への取り組み
  - ① 預かり品の確認 . . . . . 6回 (6回)

## 3 成年後見制度事業

- (1) 成年後見制度普及啓発事業の受託
  - ① 成年後見制度に関する相談対応 . . . . . 22件 (35件)
  - ② 親族申立、市長申立の手続き支援 . . . . . 8件 (19件)
  - ③ 成年後見制度を周知するための研修会の開催や広報

- ア 金融機関情報交換会：3月18日 . . . . . 15人
- イ 成年後見制度研修会：12月10日 . . . . . 37人
- (2) 市民後見人が活動しやすい体制の整備
  - ① 第4期市民後見人養成講座の開催 . . . . . 未実施
  - ② 市民後見人の活動団体を立ち上げるための体制整備
    - ア 市民後見定例会 . . . . . 6回、延べ79人
- (3) 身寄りのない方を支援する仕組みづくりのためのワーキング開催
  - ① 成年後見ワーキング . . . . . 2回、延べ22人
- (4) 成年後見制度利用促進基本計画における中核機関設置に向けた準備
  - ① 中核機関に関する打ち合わせ：5月12日 . . . . . 9人

#### 4 法人後見事業

- (1) 法人後見事業の実施
  - ① 法人後見運営委員会の開催 . . . . . 2回(2回)
  - ② 法人後見の受任
    - ア 新規受任 . . . . . 2件(2件)
    - イ 終了 . . . . . 1件(0件)
    - ウ 3月31日末現在受任件数 . . . . . 25件(24件)
  - ③ 法人後見事業の支援員として活動する市民後見人のバックアップ
    - ア 市民後見人の活動 . . . . . 3月末23人(23人)

#### 5 地域移行等支援事業

- (1) アパート生活を通して、社会生活体験機会の提供と地域生活移行への支援（アパート3室）
  - ① 施設や病院に長期間入所・入院する障がい者等の地域生活への移行準備 . . . . . 4人(4人)
    - ア 実利用人数 . . . . . 4人(4人)
    - イ 総利用日数 . . . . . 28泊(28泊)
  - ② 生活困窮者等の緊急的な支援としての活用 . . . . . 10人(12人)
    - ア ホームレスや生活保護利用までの支援 . . . . . 4人(4人)
    - イ 虐待やDVからの保護 . . . . . 全6人、内DVからの保護4人(8人)
    - ウ 総利用日数 . . . . . 459泊(756泊)

#### 6 障害者等相談支援事業（相談支援事業所おうぎまち）

- (1) 一般相談支援利用実績

相談支援専門員数	利用者契約数	実績件数
3人：1人兼務（3人：1人兼務）	1件（1件）	7件（3件）

- (2) 計画相談支援利用実績

相談支援専門員数	利用者契約数	実績件数
3人：1人兼務（3人：1人兼務）	124件（127件）	375件（397件）

- (3) 一般相談・計画相談支援を利用している障害者等の人数

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	114 (125)	35 (39)	20 (21)	25 (27)	29 (35)	2 (0)	3 (3)	0 (0)
障害児	3 (3)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	117 (128)	35 (39)	20 (21)	28 (30)	29 (35)	2 (0)	3 (3)	0 (0)

(4) 一般相談・計画相談支援を利用している障害者等への支援の方法

	訪問	来所 相談	同行	電話相 談	電子メ ール	個別支 援会議	関係機 関	その他	計
件数	299 (513)	51 (31)	47 (63)	616 (525)	7 (6)	39 (55)	873 (502)	1 (7)	1,933 (1,702)

(5) 一般相談・計画相談支援を利用している障害者等への支援内容

	福祉サー ビスの利 用等に関 する支援	障害や病 状の理解 に関する 支援	健康・医 療に関す る支援	不安の解 消・情緒 安定に関 する支援	保育・教 育に関す る支援	家族関 係・人間 関係に関 する支援	家計・経 済に関す る支援	生活技術 に関する 支援	就労に関 する支援
件数	1,246 (994)	8 (60)	314 (129)	170 (345)	2 (0)	64 (29)	53 (47)	46 (26)	10 (18)

	社会参 加・余暇 活動に関 する支援	権利擁 護に関 する支 援	その他	計
件数	3 (1)	2 (0)	15 (45)	1,933 (1,694)

※(1)及び(2)は保険者へ給付費等を請求した件数。(3)～(5)は、延べ数を掲載。

(6) 関係機関及び多職種との連携

① 柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会への参加

- ・・・サービス調整連絡会議 11 回、権利擁護部会 5 回、子ども部会 3 回、相談支援連絡会 5 回、中越圏域相談支援事業連絡調整会議 3 回

7 職員の資質向上

- (1) 相談支援専門員初任者研修と現任研修への参加・・・現任研修参加を予定するも、コロナの為中止
- (2) 県内外の各種研修の参加・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 県内研修：5 回
- (3) 介護保険のケアマネジャーと情報交換する機会の設定及び介護保険への円滑な引継ぎ  
・・ 介護保険への引継ぎ終了 1 件 介護保険認定非該当 1 件

8 事故防止への取組

- (1) 苦情対応・介護事故・車両事故事例、ヒヤリハット事例の収集・分析・・・・・・・・・・・・・・ 随時実施
- (2) 事故防止策及び緊急時対応マニュアルの見直し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 月
- (3) 緊急時に関する訓練の実施・・ 4 月

第3 こども支援課（庶務係・こども育成係）

22 か所の児童クラブを運営し、年間を通じて 146,159 人の児童を受け入れた。緊急事態宣言発令中は、市から児童クラブ利用自粛の要請があったため、利用人数が少なかったが、6 月以降は、例年同様の利用があった。運営にあたっては、児童受け入れる前後に消毒を行う他、定期的に換気を行い、新型コロナウイルス感染症拡大予防に努めた。また、職員が新型コロナウイルスに感染し、児童クラブの運営ができないうことがないように、常勤職員の分散勤務を行った。

### 第3-1 庶務係

#### 1 児童クラブ運営体制の充実・強化

(1) 人員配置計画の整備と勤怠管理を実施した。

① 児童クラブ見学会の実施：6月23日、7月15日、11月20日、12月24日 …… 15人

(2) 市との連絡調整を実施した。

(3) 各種契約の締結を実施した。

### 第3-2 こども育成係

#### 1 柏崎市から受託した22児童クラブの運営（比角第一・柏崎は2単位 合計24単位）

※登録者数は、令和3年3月現在

名 称	開設場所	開設 日数	登録者 ※単位 人	利用数 ※単位 人
比角第一児童クラブ A	比角小学校校舎内	286日	91 (77)	10,190 (9,148)
比角第一児童クラブ B	比角小学校校舎内	254日		7,331 (5,899)
比角第二児童クラブ	柏崎市総合福祉センター	259日	24 (24)	5,124 (5,046)
東部児童クラブ	橋場集会所	286日	33 (42)	7,439 (9,022)
剣野第一児童クラブ	剣野小学校敷地内	286日	35 (31)	6,753 (6,027)
剣野第二児童クラブ	剣野小学校校舎内	254日	41 (39)	8,143 (8,514)
半田第一児童クラブ	半田小学校敷地内	285日	45 (37)	8,937 (6,027)
半田第二児童クラブ	南半田集会所	253日	37 (40)	6,829 (8,514)
田尻第一児童クラブ	田尻小学校校舎内	286日	57 (56)	11,210 (11,776)
田尻第二児童クラブ	田尻小学校校舎内	254日	45 (55)	8,445 (10,958)
新道児童クラブ	下村会館	286日	25 (26)	5,582 (5,568)
枇杷島第一児童クラブ	枇杷島小学校敷地内	286日	35 (36)	6,909 (7,484)
枇杷島第二児童クラブ	枇杷島小学校校舎内	254日	37 (38)	6,829 (7,986)
荒浜児童クラブ	東京電力ホールディングス(株) 旧荒浜社宅集会所	273日	42 (44)	8,326 (8,932)
北鯖石児童クラブ	北鯖石小学校校舎内	286日	26 (30)	5,102 (6,680)
日吉児童クラブ	日吉小学校校舎内	258日	35 (33)	6,330 (6,346)
柏崎児童クラブ A	柏崎小学校校舎内	286日	78 (81)	13,752 (15,332)
柏崎児童クラブ B	柏崎小学校校舎内	254日		
鯖石児童クラブ	柏崎農業協同組合旧中鯖石支店	286日	12 (16)	2,479 (3,628)
大洲児童クラブ	大洲小学校校舎内	254日	14 (18)	2,762 (3,954)
中通児童クラブ	中通小学校校舎内	263日	4 (11)	946 (2,565)
北条児童クラブ	北条小学校校舎内	286日	12 (16)	2,671 (3,166)
米山児童クラブ	米山小学校校舎内	286日	8 (7)	1,621 (1,388)
鯨波児童クラブ	鯨波小学校校舎内	254日	9 (16)	2,449 (3,359)
合計		6,515日	745 (773)	146,159 (159,090)

## 2 職員の資質向上

### (1) 児童の発達や育成についての事例検討と問題事例の共有

① 事例検討：6月22日	23人
② 職員情報交換会：2月15日	61人
③ 児童虐待防止支援者研修会復命報告：1月26日	23人
④ ケース検討会への参加	4回

### (2) 市内外の研修等への積極的な参加

① 食物アレルギーとエピペン使用に係る研修会：9月9日	13人
② 甲種防火管理者講習：10月22日、23日	7人
③ 放課後児童支援員認定資格研修：11月24日、12月2日、8日、23日	17人
④ 虐待防止支援者研修会：1月19日	3人

### (3) 障がいのある子どもの理解と育成支援研修 未実施

### (4) リスクマネジメントと接遇

① 支援員研修「児童対応と保護者対応について」：1月18日、25日	65人
② 児童クラブフリー参観の実施：2クラブ	12人

### (5) 定期的な支援員研修会等の開催

① 支援員会議	2回
② 主任会議	2回
③ ワーキンググループミーティング	22回

## 3 事故防止への取り組み

### (1) 苦情対応・事故・ヒヤリハット事例の収集・分析

① 「鍵の紛失防止について」：1月21日	28人
----------------------	-----

### (2) 事故防止策及び緊急時対応についての研修実施

① 応急手当・アレルギー対応研修：7月15日	22人
② 災害時の対応について：7月20日	23人
③ 応急手当講習会：10月12日、19日、28日	55人

## 第4 訪問事業課（訪問介護係・障害福祉サービス係・訪問看護係）

### 第4-1 訪問介護係（訪問介護事業所・訪問入浴介護事業所）

利用者の自立支援の促進、生活の質の向上を目標に、利用者が健やかで安心して在宅生活を過ごせるよう日常生活の支援に努めた。訪問介護事業所は7月よりサービス提供責任者を2人増員し、運営体制の強化を図り、利用者の状況に合わせたサービス提供を行った。

訪問入浴介護事業所は地域福祉係と連携し、「小学生お仕事塾」に訪問入浴のデモンストレーション動画を掲載し、介護の仕事の魅力をアピールした。利用者数は現状を維持しているが、利用者の思いを汲みながら丁寧なサービス提供に努めた。

職員の退職が重なり、職員数は減員となったが利用者数も減少したため、係内及び障害福祉サービス係と協力しながら、限られた人員で最大限のサービスを提供し、円滑な事業運営を行った。

新型コロナウイルス感染症の発生により、利用を控える利用者もみられたが収入面で大きな影響はなかった。また、いかなる状況にあっても必要なサービスを継続できるよう、職員の分散勤務体制を整備した。

### 1 サービス提供体制の充実・強化

#### (1) サービス提供責任者による訪問介護員への指導及び業務管理を実施

① サービス提供責任者会議	毎月実施
---------------	------

- ② リーダー会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 毎月実施
- (2) 訪問手順書及びサービス提供マニュアルの定期的な見直しを行った。
- (3) 介護者等に対する介護に関する相談・指導を行った。
- (4) 障害福祉サービス係と協力し、効率的な訪問計画の作成及び稼働率の向上に努めた。
- (5) 関係機関との連携及びネットワークの活用を努めた。
- (6) 訪問入浴介護事業・総合事業訪問型サービス A のサービス提供体制の見直し  
 ・・・・利用者数の変動が少ないため、現状の体制を継続した。

## 2 職員の資質向上

- (1) 一人ひとりの技能に応じた研修計画の作成と実施  
 ・・・・新型コロナウイルスの影響により、予定していた研修の一部が中止、延期となっているため、当初の計画に変更を加えながら実施した。
- (2) 県内外の研修会への参加・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 県内研修 6 人、オンライン研修 25 人  
 ・・・・一部中止・延期になったが、オンライン研修も取り入れ、研修の機会を確保した。
- (3) 自己点検振り返りシートの活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 令和 3 年 1 月実施
- (4) 他課との合同研修会の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 中止
- (5) 課内 4 事業所合同研修会「ノーリフト研修」の実施・・・集合型研修は中止し、オンラインセミナー聴講研修を実施。係内にて 1～3 月の間で実施。

## 3 事故防止への取り組み

- (1) 苦情対応・介護・車両事故事例、ヒヤリハット事例の収集・分析・・・・・・・・・・・・ 毎月実施
- (2) 事故防止策及び緊急時対応マニュアルの見直しの実施・・・・・・・・・・・・ 4 月、9 月に実施
- (3) 緊急時対応についての研修実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10 月に実施
- (4) 訪問入浴車両積載ボイラー及び備品の点検を強化  
 ・・・・運行前点検は毎日実施。専門業者による入浴車輛定期メンテナンスは 10 月・12 月に実施

## 4 広報活動等の実施

- (1) 定期的なヘルパー情報誌の発行・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 月、1 月に 2 回発行
- (2) 利用者・介護者へのサービス満足度調査の実施  
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 訪問介護：2 月／配布 151・回収 129・回収率 85.43%  
 訪問入浴：2 月／配布 16・回収 15・回収率 93.8%  
 両事業所とも、概ね満足、ほぼ満足と回答をいただいているが、少数ではあるが不満を感じる回答もあったため、利用者の思いを汲み、改善に努めた。

## 5 訪問実績

(1) 訪問介護 (月平均)

介護給付		総合事業・訪問型サービス A		総合事業・ 介護予防訪問介護相当サービス	
派遣世帯数	派遣延件数	派遣世帯数	派遣延件数	派遣世帯数	派遣延件数
139 件 (159 件)	1,964 件 (2,410 件)	33 件 (38 件)	160 件 (185 件)	14 件 (18 件)	113 件 (129 件)

(2) 法定外サービス

月平均派遣世帯数	2 件 (2 件)
月平均派遣延件数	2 件 (3 件)

(3) 訪問介護実習同行訪問 . . . . . 実習同行訪問の受け入れは中止した。

受入人数	0 人 (1 人)
受入延日数	0 日 (2 日)

(4) 訪問入浴介護

月平均派遣世帯数	14.5 人 (15.5 人)
月平均派遣延件数	56 件 (69 件)

(5) 障害者訪問入浴サービス

月平均派遣世帯数	2 人 (2 人)
月平均派遣延件数	18.7 件 (17.5 件)

## 第 4-2 障害福祉サービス係 (居宅介護事業所)

障害福祉サービスでは、感染予防対策を徹底し、職員自身の身を守り、利用者には安心、安全にサービスが提供できるように努めた。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、精神的に体調を崩す利用者も多く、中止が相次いだ。また、大雪により訪問を中止せざるを得ない状況や、新規依頼も少なかったことから利用者数が減少しているが、訪問介護係と協力しながら効率的な事業運営を行なった。

対応が困難なケースに苦慮する事もあり、障害特性に応じた対応ができるよう研修等で研鑽を積み、サービスの質の向上を目指すとともに、適切な対応を行った。

### 1 サービス提供体制の充実・強化

(1) サービス提供責任者による指導及び業務管理

- ① サービス提供責任者会議 . . . . . 毎月実施
- ② リーダー会議 . . . . . 毎月実施

(2) 訪問手順書及びサービス提供マニュアルの定期的な見直しを行った。

(3) 介護者等に対し、療養や介護に関する助言・指導を行った。

(4) 訪問介護係と協力し、効率的な訪問計画の作成と稼働率の向上に努めた。

(5) 関係機関及び多職種との連携を図った。

(6) 効率的な業務運営の検討

- ① 常勤会議 . . . . . 7 回実施

(7) 同行援護従事者養成研修への参加 . . . . . 常勤 2 人修了

### 2 職員の資質向上

(1) 職員一人ひとりの技能に応じた研修計画の作成

- ① 毎月定例の係内研修の実施

内容：感染予防対策について、法令遵守・職業倫理、身体介護、調理実習、認知症の理解  
感染症予防対策シミュレーション、情報の伝え方、伝わる報告の仕方、救急法「心肺蘇生  
AED 使用方法」、メンタルヘルス

- (2) 県内外の研修会への参加 . . . . . 県内研修 2 人参加、オンライン研修 3 人参加
- (3) 自己点検振り返りシートの活用 . . . . . 令和 3 年 3 月実施
- (4) 他課との合同研修会の実施 . . . . . 中止
- (5) 課内 4 事業所合同研修会「ノーリフト研修」の実施  
. . . . . 集合型研修は中止し、オンラインセミナー聴講研修を実施。係内にて 2 月に実施

### 3 事故防止への取り組み

- (1) 苦情対応・介護事故・車両事故事例、ヒヤリハット事例の収集・分析 . . . . . 毎月実施
- (2) 事故防止策等、緊急時対応マニュアルの見直し . . . . . 4 月実施
- (3) 緊急時対応についての研修実施 . . . . . 10 月実施

### 4 広報活動等の実施

- (1) 定期的な情報紙の発行 . . . . . 6 月、1 月に 2 回発行
- (2) 利用者・介護者へのサービス満足度調査の実施 . . . . . 2 月実施 (配布 53・回収 44・回収率 83.0%)  
おおむね満足という評価が多く、職員が誠意ある対応に心がけ、研修等での研鑽の成果ではないかと感じた。やや不満と回答された方からも満足していただけるよう、サービスの改善を図り、サービスの質の向上に努めた。

### 5 訪問実績

#### (1) 居宅介護事業

年間派遣世帯数	729 件 (783 件)
年間派遣延件数	7,033 件 (7,909 件)

#### (2) 同行援護

年間派遣世帯数	136 件 (157 件)
年間派遣延件数	581 件 (698 件)

#### (3) 重度訪問介護

年間派遣世帯数	0 件 (1 件)
年間派遣延件数	0 件 (1 件)

#### (4) 地域生活支援事業 (移動支援事業)

年間派遣世帯数	118 件 (217 件)
年間派遣延件数	387 件 (545 件)

## 第 4-3 訪問看護係 (ゆたか訪問看護ステーション)

介護保険又は医療保険対象者にケアプラン及び主治医の指示に基づき、看護師等の専門職が訪問し、利用者の病状観察、バイタルサインチェック、リハビリメニューの作成と実施、療養上の援助及び必要な診療の補助を行った。また、家族への介護指導等を行い、利用者の生活の質の向上と利用者家族の介護負担軽減に取り組み、在宅生活が継続できるように相手の心に届く支援を心がけた。

### 1 サービス提供体制の充実・強化

- (1) 利用者の病状や状態の把握及び適切な看護サービスの提供を実施した。
- (2) 利用者への療養指導・介護者に対しての介護指導を実施した。
- (3) 個別リハメニューの提供とリハビリ提供体制の強化を図った。
- (4) 関係機関との連携及びネットワークを活用し、積極的に情報交換を実施した。
- (5) 効率的な訪問計画の作成及び稼働率の向上を図った。

## 2 職員の資質向上

- (1) 一人ひとりの技能に応じた研修計画を作成し、実施した。
- (2) 県内外研修への参加 . . . . . 県内研修 3 人 オンライン研修 3 人
- (3) 自己点検振り返りシートの活用 . . . . . 3 月実施
- (4) 他課との合同研修会の実施 . . . . . 中止
- (5) 課内 4 事業所合同研修会「ノーリフト研修」の実施 . . . . . 中止

## 3 事故防止への取り組み

- (1) 苦情対応、介護・車両事故、ヒヤリハット事例の収集・分析・毎月係内会議にて検討実施
- (2) 事故防止策及び緊急時対応マニュアルの見直しを行った . . . . . 4 月
- (3) 緊急時対応についての研修を実施した . . . . . 4 月

## 4 広報活動等の実施

- (1) 利用者・介護者へのサービス満足度調査の実施 . . . . . 3 月（配布 100・回収 98・回収率 98%）  
おおむね満足という評価が多かった。アンケート結果を回答者に公表し、更なるサービスの改善に努めた。
- (2) 事業所紹介リーフレットの発行 . . . . . 未実施

## 5 訪問実績

年間介護予防利用者		年間要介護利用者		年間医療保険利用者	
派遣世帯数	派遣延件数	派遣世帯数	派遣延件数	派遣世帯数	派遣延件数
180 件 (204 件)	847 件 (966 件)	1,040 件 (1,036 件)	4,689 件 (4,611 件)	216 件 (291 件)	1,131 件 (1,419 件)

# 第 5 介護支援事業課

(介護支援係・地域包括支援係（柏崎市西地域包括支援センターまちなか・あかさかやま）)

## 第 5-1 介護支援係（居宅介護支援事業所）

居宅介護支援事業所は、住み慣れた地域や安らげる環境で安心して自立した生活が継続できるよう、介護に関する相談援助や心身の状況に応じてサービス事業所や施設等との連絡調整を行った。また、係内での情報共有や各種研修会への参加により、資質向上を図るとともに、法令を遵守した業務を行うため、ケアプラン点検を定期的実施した。

### 1 法令を遵守したケアマネジメント業務の遂行

- (1) 利用者の意向を尊重し、かつ関係法令を遵守した適切なアセスメント及びケアプランの作成を関係機関と連携し、実施した。
- (2) 個人情報の取り扱いについては、適切な取り扱いを徹底し業務を遂行した。
- (3) ケアプランチェックの取り組みを進めた。
  - ① 市が主催する自立支援検討型地域ケア会議は終了したが、介護給付費適正化事業のケアプラン点検や介護予防の視点で取り組む地域ケア個別会議に参加した。
    - ア 介護給付費適正化事業のケアプラン点検 . . . . . 1 件
    - イ 地域ケア個別会議 . . . . . 4 件
  - ② 自己点検表を活用し、法令を遵守したケアマネジメント業務が遂行されているか自己点検を行うとともに、月 1 回職員間でケアマネジメント業務の内部チェックを実施した。

(4) 業務改善の取り組みを実施した。

- ① 事業所管理に関する各種マニュアルの確認を行った。
- ② 効率的な業務運営を検討するための主任会議を8回開催。その中で、業務手順をより細分化し、可視化できるよう業務マニュアルを作成した。

## 2 利用者のニーズを重視したサービスの確立

- (1) 市内サービス事業者のパンフレット等を収集し、利用者がサービス選択を行う際の参考資料として活用した。また、公正、中立性を確保するため、利用者は複数の事業者の紹介を求めることができることを説明し、利用者の意向に沿ったサービス選択ができるよう支援した。
- (2) 適切な助言・指導を行うための主任介護支援専門員の配置 . . . . . 4人 (令和3年3月末)
- (3) 24時間の連絡体制による利用者への緊急対応を実施した。  
. . . . . 時間外電話対応件数累計 772件うち緊急対応件数 7件
- (4) 利用者に関する情報共有を目的とした会議を毎日開催した。 . . . . . 朝礼時開催 延べ 236回

## 3 困難ケースに対応できる体制の整備

- (1) 主任介護支援専門員資格を有する4人の職員を中心に、様々な困難を抱えるケースに関する対応を検討する事例研究会を開催した。 . . . . . 3回
- (2) 市内地域包括支援センターとの事例検討会を実施した。 . . . . . 1回
- (3) 困難ケースに関わる関係機関との情報共有、連携を密に行い、適切なケアマネジメントを実施した。
- (4) 新人介護支援専門員に対し、主任介護支援専門員が同行訪問を実施し、事業所全体でケース支援の把握ができるよう取り組んだ。
- (5) 地域包括支援係と合同の課内研修会及び事例検討会を実施した。 . . . . . 4回
- (6) 介護支援専門員と一緒に主任介護支援専門員が個別ケースの振り返りを実施し、対応困難ケースに対する事業所内での相談支援体制を整えた。

## 4 資質向上の取り組み

- (1) 介護支援専門員自己評価の実施及び分析を行った。 . . . . . 2回
- (2) 県内の研修等へ参加し、その後復命研修を実施することで全職員の資質向上に努めた  
. . . . . 県内 22人 (173人)
- (3) 係内研修の開催 . . . . . 12回 (12回)
  - ① 事例研究 . . . . . 4回  
内容:「本人が嫌な思いをしないで話しを聞きだすにはどうすれば良いか」「本人の身体状態の変化における、本人・家族とサービス事業所の意向が違うケース」「今の親族との関係性で、今後どう乗り越えていくか」
  - ② 事例検討 . . . . . 1回  
内容:「本人の不安を取り除くための支援」
  - ③ 接遇・法令遵守実技研修 . . . . . 1回  
内容:「プライバシー保護について」
  - ④ 講義研修 . . . . . 3回  
内容:「加算の算定要件」「訪問介護(生活援助中心型)の利用について」「社協を動かすお金の話」
  - ⑤ 外部講師研修 . . . . . 2回  
内容:「総合事業について」「生活保護制度の説明とケアマネと援護係との連携の取り方」
- (4) 主任介護支援専門員資格を取得するための研修に参加し、2人が資格を取得した。
- (5) 新潟県介護支援専門員実務研修見学実習機関として登録し、実習生受入れ体制を整えたが、新潟県介護支援専門員協会の判断にて中止
- (6) 主任介護支援専門員に新潟県介護支援専門員実務研修のファシリテーターの依頼があり、1人を派遣した。

## 5 事故防止への取り組み

- (1) 報告されたヒヤリハット事例を職員間で共有するとともに、再発防止策の検討を行った。また、苦情には、苦情対応マニュアルに沿って状況や事実確認を行ったうえで、利用者及び家族への謝罪と今後の対応や再発防止策等を検討し、説明を行った。
- (2) 週1回全職員で行う車輛点検と、運行記録表に基づく車両乗降時の点検を実施し、故障等の早期発見及び事故防止に努めた。
- (3) 事故発生時には速やかに必要な対応を行い、再発防止に向けた改善項目を協議し、事業所内に周知した。
- (4) 災害発生時の対応について、係員全員で緊急時対応マニュアルの確認及び安否確認訓練を実施した。
- (5) 柏崎市安否確認対象者の緊急連絡先を把握し、その情報を適切に管理した。
- (6) 感染症対応についてオンライン研修を受講し、復命研修により、係内全員に周知した。

## 6 多職種連携

- (1) 在宅医療・介護連携を図った。
  - ① 物忘れ連絡シートや入退院時連携シートを活用し、医療側との連携を図った。
  - ② 養護老人ホーム御山荘、協力病院、市内居宅介護支援事業所との情報交換会は書面で実施された。
- (2) 関係機関への提言、本会各部署への情報提供や協力、連携を図った。
  - ① 高柳ミニケア会議 . . . . . 7回出席
  - ② 北条つなぐ会 . . . . . 6回出席  
(北条つなぐ会の中で地域包括支援センター及び市内居宅介護支援事業所との事例検討会 1回開催)
  - ③ 野田・別保・鶴川地区 保健・医療・介護をつなぐ会 . . . . . 5回出席

## 7 居宅介護支援事業所実績

### (1) 請求実績

① 年間居宅介護支援利用者（介護）	6,193人（6,509人）
② 年間介護予防支援利用者（予防）	271人（403人）
③ 年間介護予防ケアマネジメント利用者（総合事業）	276人（338人）
④ 介護支援専門員一人当たりの担当者数	37.1人（36.9人）

※ ④ = { ① + ( ② + ③ ) × 0.5 } ÷ 12月 ÷ 常勤換算数

### (2) 職員の資質向上

介護支援専門員更新研修	1人（7人）
-------------	--------

## 第5-2 地域包括支援係（柏崎市西地域包括支援センターまちなか・あかさかやま）

高齢者全般の身近な相談窓口として、高齢者の心身の健康を保持し、住み慣れた地域で安心して過ごせるように包括的支援事業・介護予防ケアマネジメント事業・指定介護予防事業を実施した。

また、「聴くこと・寄り添うこと・地域と共に歩むこと」をモットーに、介護・医療・福祉の関係者や地域住民等の連携の拠点として、多様な高齢者支援が包括的に提供される「地域包括ケアシステム」体制の推進に努めた。

### 1 包括的支援事業

公益性・地域性・協働性の3つの基本的視点に立脚した事業運営を行った。

#### (1) 総合相談支援事業

- ① 高齢者に関する総合相談の実施
- ② 早期対応が必要な高齢者の実態把握（現況調査）

コロナによる影響で、総合相談、実態把握ともに実績数は減少した。

対応数	まちなか	あかさかやま
総合相談受理実人数	432人(485人)	375人(420人)
総合相談受理延人数	445人(494人)	389人(508人)
高齢者の実態把握数	12人(16人)	11人(44人)

## (2) 権利擁護事業

- ① コロナによる影響で、昨年に比べ対応数は減少しているが、同じ家庭内で複数の問題を抱えているなど困難事例への対応が増加した。
- ② 消費者被害の防止では、コツコツ貯筋体操の会場やくらしのサポートセンターを訪問。包括通信を配布し、啓発活動を実施した。必要に応じて消費生活センターからの最新情報を地域に発信した。また、消費者契約トラブルに係る合同意見交換会に出席し、関係機関との情報共有や連携強化を図った。
- ③ 成年後見制度及び日常生活自立支援事業では、コツコツ貯筋体操の会場やくらしのサポートセンターを訪問し、包括通信やチラシの配布など啓発活動を実施した。

対応件数	まちなか	あかさかやま
虐待事例（疑いも含む）への対応	54回(61回)	40回(92回)
消費者被害への対応	0回(0回)	7回(0回)
日常生活自立支援事業・成年後見制度の活用支援	17回(38回)	80回(8回)

## (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

- ① 支援困難事例等への指導・助言では、高齢者の多様な課題（心身の状態、生活環境等）のアセスメントやカンファレンス等を実施し、ケースに対しての支援を行った。認知症、ヤングケアラー、障害、経済的問題など一つの世帯で複合的な問題を抱え、介護保険事業だけではマネジメントが困難な事例については、他機関と連携し、支援を実施した。
- ② 介護支援専門員の気づきを促すための地域ケア会議（介護予防）を、まちなかで1件、あかさかやまで1件開催した。
- ③ 市が開催する介護支援専門員連絡会へ参加したが、コロナによる影響で開催数そのものが減少した。

対応件数	まちなか	あかさかやま
困難事例対応（会議への参加含む・CMあり）	109回(171回)	43回(125回)
困難事例対応（会議への参加含む・CMなし）	98回(273回)	160回(159回)
事例検討会・事例研究会・カンファレンスへ	14回(4回)	19回(9回)
介護支援専門員連絡会の企画・参加	4回(7回)	5回(2回)
介護支援専門員研修会の企画・参加	0回(1回)	0回(3回)

## (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

- ① 市が開催する地域包括支援センター連絡会（管理者会議を含む）に参加したが、コロナによる影響で開催数そのものが減少した。
- ② 高齢者虐待ネットワーク連絡会に参加した。
- ③ 地域活動への参加は、コロナ禍ではあるが感染対策に努めながら減少することなく実施できた。
- ④ 地域包括関係会議及び関係機関との会議等については、コロナの影響により中止や書面での開催も多く、かなり減少した。圏域内の介護保険サービス事業所（地域密着型サービス事業所）の運営協議会もコロナによる影響で、ほとんどが書面によるものとなっている。ただ、民生委員老人福祉部会及び地区民生委員協議会へ出向いての地域包括支援センターの業務内容についての啓発は例年通り行なうことができた。また、地区担当保健師等との情報交換会にも参加した。
- ⑤ 認知症関連事業では、コロナによる影響で簡略化しているものもあるが、もの忘れ連絡シート

の活用、地域密着型サービス事業所での勉強会の企画・参加、認知症初期集中支援チームとの連携等は例年通り行なうことができた。また、認知症高齢者支援のための地域づくり（認知症サポーター養成講座の開催）も行なうことができた。

- ⑥ 在宅医療・介護連携の推進のための協力では、入退院連携シートを適宜活用し、連携に努めた。
- ⑦ 生活支援コーディネーターと連携し、2層協議体の設置に向け、各町内会との関わりを深めるように努めた。

項目	まちなか	あかさかやま
地域包括支援センター連絡会	8回（12回）	8回（12回）
地域活動への参加（SCとの連携含む）	11回（12回）	39回（15回）
地域包括関係会議・関係機関との会議等	20回（123回）	22回（69回）
認知症関連機関との連携	34回（35回）	30回（33回）
医療関係機関との連携	36回（35回）	30回（6回）

(5) 地域ケア会議の実施

- ① 個別課題の解決、地域包括支援ネットワークの構築、地域課題の発見、地域づくり・資源開発、政策の形成等を目的とする「地域課題検討型地域ケア会議」を実施した。地域ケア会議等を活用することで、地域におけるネットワークが前進し、より顔の見える関係を築くことができた。

ア 地域ケア個別会議（介護予防：年1回含む）

(ア) まちなか・・・7月6日駅前1件、10月8日新花町1件、10月15日旭町（介護予防）1件の計3回実施。企画・打合せは併せて16回実施。

(イ) あかさかやま・・・6月15日大洲1件（昨年度分）、9月2日常盤台1件、10月9日剣野1件、12月7日大洲（介護予防）1件の計4回実施。企画・打合せは併せて10回実施。

イ 圏域会議

(ア) まちなか・・・3月16日、新花町で開催。

(イ) あかさかやま・・・12月18日、米山台で開催。

ウ モニタリング会議

(ア) まちなか・・・2月10日柏木町を対象としアンケートを実施。

(イ) あかさかやま・・・7月28日川内町内会、8月3日東の輪町内会、10月13日鯨波町内会を訪問し聞き取り調査を実施。

- ② 西地域包括支援センター通信の発行・・・まちなか、あかさかやまとも年3回（5月、8月、3月）

## 2 介護予防ケアマネジメント事業

- (1) 総合事業（訪問介護・通所介護）のみを利用する要支援者及び事業対象者へのケアマネジメント業務を実施した。コロナの影響により総合相談数が減少したため、年間総数が減少した。
- (2) 総合事業利用希望者に対しての手続き等の支援を実施した。
- (3) 訪問介護相当サービス・通所介護相当サービスの必要な方に対する確認書の作成を行った。
- (4) 指定居宅介護支援事業所への業務委託を行ったが、柏崎市内での介護支援専門員不足により委託件数が減少し、自前件数が増加した。

介護予防ケアマネジメント事業	まちなか	あかさかやま
年間介護予防ケアマネジメント総数	829件（873件）	470件（532件）
月平均介護予防ケアマネジメント自前作成	58件（52件）	26件（29件）
月平均介護予防ケアマネジメント委託作成	21件（21件）	13件（15件）
月平均介護予防ケアマネジメント作成総数	69件（73件）	39件（44件）

### 3 指定介護予防支援事業

- (1) 予防給付のみ、または、予防給付と総合事業サービスを組み合わせて利用する要支援者のケアマネジメント業務を実施した。コロナの影響により総合相談数が減少した為、年間総数が減少した。
- (2) 訪問介護相当サービス・通所介護相当サービスの必要な方に対する確認書の作成を行った。
- (3) 指定居宅介護支援事業所の業務委託を行ったが、柏崎市内での介護支援専門員不足により委託件数が減少し、自前件数が増加した。

指定介護予防事業	まちなか	あかさかやま
年間介護予防サービス計画作成数	677件 (686件)	531件 (480件)
月平均介護予防サービス計画自前作成	45件 (46件)	25件 (13件)
月平均介護予防サービス計画委託作成	12件 (11件)	20件 (26件)
月平均介護予防サービス計画作成数	57件 (57件)	45件 (39件)

### 4 任意事業

- (1) 担当ケアマネジャーがついていない利用者に対し、住宅改修費支給に係る理由書及び福祉用具購入申請書の作成を行った。

任意事業	まちなか	あかさかやま
住宅改修支援事業：理由書作成	1件 (2件)	1件 (1件)
福祉用具購入費支給申請手続支援	0件 (4件)	0件 (1件)

### 5 職員の資質向上

- (1) 今年度はコロナの影響により県外への研修への参加ができず、県内・市内で開催された研修への参加のみとなった。オンラインでの参加も多い。
  - ① 参加実績・・・ まちなか 県外0人、県内3人、市内11人、オンライン研修13人  
あかさかやま 県外0人、県内1人、市内20人、オンライン研修10人
- (2) 係内研修の実施・・ 12回  
内容：「柏崎市のコミュニティセンターについて」「訪問看護について」「事例検討～社会福祉士の視点で考える」「転倒予防と住環境整備について」「介護予防ケアマネジメントについて」、その他年間計画確認、一年間の振り返り等を実施。
- (3) 介護支援係と合同の課内研修会の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4回  
内容：「総合事業について」「事例検討会」「社協を動かすお金の話」「プライバシー保護に関する研修」

### 6 事故防止への取り組み

- (1) 報告されたヒヤリハット事例を係内回覧等で職員間の共有を図るとともに、再発防止策の検討を行った。また、苦情には、苦情対応マニュアルに沿って状況や事実確認を行ったうえで、利用者及び家族への謝罪と今後の対応や再発防止策等を検討し、説明を行った。
- (2) 週1回全職員で行う車輛点検と、運行記録表に基づく車両乗降時の点検を実施し、故障等の早期発見及び事故防止に努めた。
- (3) 給付管理を含めた事故発生時には朝礼や係内会議にて情報の共有を行なうとともに速やかに必要な対応を行い、再発防止に向けた改善項目を協議し、周知した。
- (4) 緊急時対応について、7/28に介護支援係と合同で災害発生時の連絡網を使用した訓練を実施した。
- (5) 災害発生時の対応について、5/18に赤坂山デイサービスセンターの避難訓練に参加した。
- (6) 安否確認対象者の緊急連絡先を把握し、その情報を適切に管理した。

## 第6 通所事業課

(赤坂山・松波・北条デイサービスセンター、シニアエクササイズさんわ、かしわハンズ)

### 第6-1 赤坂山デイサービスセンター (一般型定員 39 人 短時間午前 10 人/午後 10 人)

新型コロナウイルス感染症や大雪などによる利用キャンセルが相次ぎ、大幅に利用者が減少したが、他事業所が送迎を行っていない谷根・笠島・米山地区の利用者は、若干増えてきている。しかし、地域特性でマイクロバスによる大量輸送ができないため、送迎体制の整備に苦慮している。

利用者の評価スケール「バーセルインデックス※」の理解を職員一人一人が深める取り組みを行い、在宅生活をより意識したりハビリを実施したことにより、利用者のリハビリに対する意識の向上、機能の向上につなげることができた。

※ Barthel Index(バーセルインデックス)とは、ADL を評価する指標であり、食事、車椅子からベッドへの移動、整容、トイレ動作、入浴、歩行、階段昇降、着替え、排便コントロール、排尿コントロールの計 10 項目を 5 点刻みで点数化し、その合計を 100 点満点として評価する仕組み

#### 1 利用者の身体的機能の維持・向上と自立支援への取り組み

- (1) 利用者及び介護者の意向をもとに、利用者一人ひとりの生活機能向上に着目した個別リハビリメニューの作成、実施、評価 . . . . . 理学療法士を中心に 3 か月ごとに評価を実施した。
- (2) 利用者の運動への意欲と継続性の意識づけ  
. . . . . 在宅でもできる個別メニューを作成し利用者に配布した。
- (3) 介護者への介護負担軽減のための運動の重要性の意識づけ  
. . . . . デイサービス通信を通じてリハビリの重要性を周知した。
- (4) 専門職による在宅生活継続のための助言・指導 . . . 理学療法士による助言・指導を実施した。

#### 2 グループ活動の効果を生かしたサービスの提供

- (1) グループで一緒に楽しめる行事や活動  
. . . . . 外部ボランティアによる訪問等は全て中止、内容を変更し、職員のみで実施した。

#### 3 短時間デイサービス「わかがえーる」の実施

職員配置基準において、人員配置が困難になったことから、令和 2 年 6 月 30 日をもって要介護者の短時間デイサービスを廃止したが、利用者本人の体調等により 1 日型の利用が困難な場合は、ケアプランに基づき、短時間での利用での受け入れを行っている。

#### 4 柏崎市通所型サービスAの実施

要支援者及び事業対象者にリハビリ訓練を実施した。

#### 5 利用実績

\* ( ) 内は、短時間デイサービス利用者数

年度	営業日数	延利用者数	一般型			キャンセル数	平均利用者(人/日)
			一般(要介護1~5)	現行相当サービス	総合事業		
			延利用者				
令和2年度	310日	9,967人 (1,904人)	8,532人 (469人)	34人 (34人)	1,401人 (1,401人)	159回	32.1人 (6.1人)
令和元年度	309日	11,285人 (2,557人)	9,745人 (1,017人)	10人 (10人)	1,530人 (1,530人)	180回	36.5人 (8.3人)
増減	1日	△1,318人	△1,213人	24人	△129人	△21回	△4.4人

## 第6-2 松波デイサービスセンター（一般型定員 30人 認知症対応型定員 7人）

新型コロナウイルス感染症や大雪の影響により、大幅に利用者数が減少した。特に基準該当生活介護事業（障害者デイサービス）の利用者は施設入所者であるため、利用キャンセルが続いている。

新規利用者については、一般型よりも報酬単価の低い通所型サービス A が多いが、今後一般型へ移行することも想定されるため、将来的な利用者確保を目指し、受け入れを行っている。

### 1 在宅生活を継続することができ、さらにより良い生活を送ることができるような機能維持・向上と自立支援への取組

- (1) 利用者及び介護者の意向をもとに、より生活状況に合わせた専門的な個別機能訓練、運動器機能向上サービスを提供した。
- (2) 個別リハビリメニューの作成・実施・評価・・・・・・・・・・ 個別メニューを作成し、実施した。
- (3) 個々の状態に合わせた医療ニーズへの対応と経過観察  
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 関係機関と連携し、医療ニーズに対応した。

### 2 グループ活動の効果を生かしたサービスの提供

- (1) グループで一緒に楽しめる行事や活動  
・・・・・・・・・・ 外部ボランティアによる訪問等は全て中止、内容を変更し、職員のみで実施した。

### 3 認知症対応型通所介護利用者への個別アプローチと状況に合わせた柔軟な受け入れ及び継続支援

- (1) 認知症利用者への支援  
新型コロナウイルス感染症により、社会参加の機会として実施していた車いす清掃等の活動の提供が難しくなったが、個々の状況に合わせた支援を行った。
- (2) 運営推進会議の開催（年2回）  
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、関係者に対して資料を送付し、意見をいただくこととしたが、特に意見はなかった。

### 4 柏崎市通所型サービス A の実施

要支援者及び事業対象者に入浴サービスとリハビリ訓練を実施した。

### 5 基準該当生活介護への取り組み

障害者施設入所者を受け入れているが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用キャンセルが多かった。

### 6 利用実績

\*（ ）内は、短時間デイサービス利用者数

	営業日数	延利用者数	一般型			認知症型	障害デイ	キャンセル数	平均利用者 (人/日)
			一般 (要介護1~5)	現行相当 サービス	総合事業	要介護1~5	基準 該当		
			延利用者						
令和2年度	310日	6,373人 (172人)	5,073人	139人	172人 (172人)	904人	85人	100回	20.6人 (0.6人)
令和元年度	309日	7,108人 (215人)	5,677人	207人	215人 (215人)	900人	109人	110回	23.0人 (0.7人)
増減	1日	△735人	△604人	△68人	△43人	4人	△24人	△10回	△2.4人

### 第6-3 北条デイサービスセンター（一般型定員 34 人 短時間午前 10 人/午後 10 人）

新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少よりも、大雪や利用回数が多い利用者の入所等による利用者の減少が大きかった。

新規利用については、一般型よりも報酬単価の低い通所型サービス A が大幅に伸びている。すぐの収入増に結びつくものではないが、将来的に報酬単価の高い一般型への移行を想定し、将来的な利用者確保の観点から今後も受け入れを行っていききたい。

#### 1 利用者の身体的機能の維持・向上と自立支援への取り組み

- (1) 利用者及び介護者の意向をもとに、利用者個々の状態に合わせた専門的な個別機能訓練、運動器機能向上サービスの提供・・・・・・・・・・理学療法士が個別メニューを作成し実施した。
- (2) リハビリメニューの実施・・・リハビリ器械を活用した身体機能向上トレーニングや認知力低下予防を目的とした脳トレーニングを実施した。

#### 2 グループ活動の効果を生かしたサービスの提供

- (1) グループで一緒に楽しめる行事や活動  
・・・・・・・・・・外部ボランティアによる訪問等は全て中止、内容を変更し、職員のみで実施した。
- (2) 利用者同士の関わりの見守り及びより良い関係づくりへの支援  
行事やレク、茶話会時等の会話の中で、利用者それぞれが地域や年齢に関係なく楽しく過ごすことができるような座席の配慮と、職員が橋渡しを行うことで、円滑なコミュニケーションが図れるよう支援を行った。

#### 3 短時間デイサービス「はつらっクラブ」の実施

職員配置基準において、人員配置が困難になったことから、令和2年6月30日をもって要介護者の短時間デイサービスを廃止したが、利用者本人の体調等により1日型の利用が困難な場合は、ケアプランに基づき、短時間での利用での受け入れを行っている。

#### 4 柏崎市通所型サービス A の実施

要支援者及び事業対象者にリハビリ訓練を実施した。

#### 5 利用実績

\* ( ) 内は、短時間デイサービス利用者数

	営業日数	延利用者数	一般型			キャンセル数	平均利用者 (人/日)
			一般 (要介護1~5)	現行相当 サービス	総合事業		
			延利用者				
令和 2年度	310日	7,840人 (1,029人)	6,784人	225人 (198人)	831人 (831人)	99回	25.0人 (3.3人)
令和 元年度	309日	8,417人 (747人)	7,348人	451人 (129人)	618人 (618人)	117回	27.2人 (2.4人)
増減	1日	△577人	△564人	△226人	213人	△18回	△2.2人

## 第6-4 シニアエクササイズさんわ（定員 午前 15 人/午後 15 人）

平成 28 年 4 月より、機能訓練に特化した短時間デイサービスとして開所したが、厳しい経営状態が続いていたため、12 月末をもって事業休止、令和 3 年 3 月末で事業所廃止を所轄庁に申請し、許可を得た。

年度当初より、利用者及び担当するケアマネジャーや地域包括支援センターには事業休止となる旨の説明を丁寧に行い、利用者の意向に基づき、他施設等への移行を行った。

### 1 運動器機能向上・個別機能訓練サービスの提供

(1) 利用者一人ひとりの状態や生活課題に沿った個別リハビリメニュー・自宅用の個別リハビリメニューの作成・実施・評価 . . . . . 理学療法士を中心として 3 か月ごとの評価を実施

(2) 運動意欲と継続性への意識づけ

生活機能訓練として、買い物等、実際の生活場面の訓練を行い、評価することで、利用者自身がリハビリの成果を見極め、運動継続の重要性を意識しながら主体的に在宅生活が送れるようにするための支援 . . . . . 買い物等の生活機能訓練は中止

### 2 社会的交流の場の提供

(1) 利用者同士の支援力の見守り及び相互作用の側面的支援を実施した。

(2) 趣味のサークル活動等の地域活動の紹介 . . . . . 中止

### 3 地域密着型サービスへの対応

(1) 運営推進会議の開催（年 1 回）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、関係者に対して資料を送付し、意見をいただくこととしたが、特に意見はなかった。

### 4 柏崎市通所型サービス A の実施

要支援者及び事業対象者にリハビリ訓練を実施した。

### 5 利用実績

\*（ ）内は、総合事業利用者数

	営業日数	延利用者数	一般型			キャンセル数	平均利用者 (人/日)
			一般 (要介護 1~5)	現行相当 サービス	総合事業		
			延利用者				
令和 2 年度	196 日	1,467 人	791 人	80 人	596 人	39 回	7.5 人 (3.0 人)
令和 元年度	258 日	2,531 人	1,105 人	217 人	1,209 人	68 回	9.8 人 (5.5 人)
増減	△62 日	△1,064 人	△314 人	△137 人	△613 人	△29 回	△2.3 人

## 第6-5 かしわハンズ

年度当初から、新型コロナウイルスによる影響により、パンの販売において販売収益が大きく落ち込んでしまった。また、利用者も感染への不安からキャンセルが多かったため、報酬収入も落ち込んだ。

今年度より本格的に送迎事業を開始し、公共交通機関を利用して柏崎駅まで来る利用者を対象に、柏崎駅からかしわハンズ間の送迎を行い、利用者の利便性を確保した。

## 1 就労継続支援事業B型の運営

定員数：20人・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 登録者数 24人

### (1) 支援計画の実施

- ① 個別支援計画の作成・・・サービス管理責任者が作成し、6ヶ月ごとにモニタリングを実施
- ② 特定相談支援事業者等関係機関との連絡調整・・・市内4か所の相談支援事業所と連携し、他のサービスを調整する等、利用者の在宅生活の充実を図った。
- ③ 生活に関する相談、助言・・・利用者が相談しやすい環境を整え、必要に応じて面談を行った。
- ④ 社会的活動、余暇活動の支援（毎月1回絵手紙教室）  
・・・絵手紙教室は一部中止したが、年7回実施。行事も中止や実施内容等を変更して実施した。
- ⑤ 保健衛生及び健康管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 利用者定期健康診断実施（11月16日）
- ⑥ 利用者の送迎事業【新規】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 利用者数延べ1,194人、1日あたり4.9人

### (2) パンの製造及び販売

新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問販売先が減少し、売り上げが大幅に減少したが、「えちゴンしょくぱん」（高級食パン）などの新商品を開発するとともに、新規販売先の開拓を行い、少しずつ回復に向けて動き出している。

### (3) 新規事業の検討

年齢や障害の程度により、集団での作業が難しい方を対象とした新規事業を検討し、市内企業と委託事業の契約を行った。また、今後自主製品を見直し、新たな事業を検討する。

### (4) 利用実績

稼働日数	延利用者数	平均利用者数（1日あたり）
241日	4,580人	19.0人

## 2 日中一時支援事業の運営

障がい者を日常的に介護している家族の一時的な休息を目的として、活動の場を提供し、社会生活に適応するための日常的な訓練を実施

定員数：5人・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 登録者数2人

### (1) 支援計画の実施

- ① 個別支援計画の作成・・・サービス管理責任者が作成し、6ヶ月ごとにモニタリングを実施
- ② 生活に関する相談、助言・・・利用者が相談しやすい環境を整え、必要に応じて面談を行った。
- ③ 社会的活動、余暇活動の支援（毎月1回絵手紙教室）  
・・・絵手紙教室は一部中止したが、年7回実施。行事も中止や実施内容等を変更して実施した。
- ④ 保健衛生及び健康管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 利用者定期健康診断実施（11月16日）

### (2) 利用実績

稼働日数	延利用者数	平均利用者数（1日あたり）
241日	119人	0.49人

## 3 検討の継続

- (1) 事業所建物の増改築・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 検討を継続

## 第6-6 通所事業課共通内容

### 1 職員の資質向上

- (1) 課内職員交換研修の実施 . . . . . 中止  
 (2) 月1回の係内研修 . . . . . 中止や研修内容の見直しを行い、下記のとおり実施した

	赤坂山 DS	松波 DS	北条 DS	SE さんわ	かしわハンズ
4月	事業計画予算説明	事業計画予算説明	事業計画予算説明	事業計画予算説明	前年度の振り返り事業計画予算説明
5月		新型コロナウイルス感染症(常勤のみ)			ケース検討
6月		事例検討会	介護技術研修	事例検討会	職場内の危険な箇所や危険な作業について
7月				事例検討会	事例検討会
8月		身体拘束について	プライバシーの保護身体拘束	事例検討会	感染対策マニュアルについて
9月				事例検討会	支援日誌の書き方について
10月			機能訓練について	感染症予防研修	起案の書き方について
11月			感染症予防研修		
12月					
1月		ヒヤリハット研修 振り返り	機能訓練について		事例検討会
2月	事例検討会 感染症研修	新型コロナウイルス感染症研修			感染症・感染症対策及び対処法について
3月	業務見直し 振り返り	業務見直し 振り返り	業務見直し 振り返り ヒヤリハット研修		1年の振り返り

- (3) リハビリに関する外部研修への参加 . . . . . 中止  
 (4) 資格取得のための研修及び講習会への参加 . . . . . 中止  
 (5) AED を活用した心肺蘇生法の研修の実施 . . . . . 中止

## 2 サービス向上への取り組み

(1) 利用者意向アンケートの実施 . . . . . 赤坂山、松波、北条 DS で2月に実施

	赤坂山 DS	松波 DS	北条 DS
配付数	115	82	88
回答者数	96	65	69
回収率(%)	83.5	79.3	78.4
考察	<p>利用者については、概ね満足又はやや満足という結果であった。その中で回数や時間において不満な面もあった。</p> <p>また、理学療法士を配置し、リハビリを積極的に実施していることについての変化では、デイサービス利用時は行うが、自宅では積極的に行っているとは必ずしも言えない状況であった。</p> <p>職員の対応において、言葉遣いが悪いという意見もいただいたことから、今後は接遇についての研修を行い、サービスの質の向上に努めていきたい。</p>	<p>利用に対しての満足度は高いものであった。</p> <p>理学療法士を配置していないが、機能訓練に対しての意識が高い回答があった。今後は赤坂山デイサービスセンターの理学療法士の協力を得て、利用者へのリハビリメニューの見直しを行っていききたい。</p> <p>職員の対応に関する意見もいただいております、介護技術の向上等について研修を行っていききたい。</p>	<p>非常勤ではあるが、理学療法士を配置しているためか、リハビリに対する意欲の高さを感じられた。その中で、実施時間などの明確化や意欲に対しての対応などに要望があった。利用者の意向に寄り添えるように検討していききたい。</p> <p>少数ではあるが、不満ややや不満と感じている回答もあったが、出来る限り、個々の利用者へ寄り添いながら、意見を聞き渡らさず、更なるサービスの向上につなげられるよう検討を行っていききたい。</p>

(2) 介護者・地域支援

① 運動習慣への啓発活動 . . . . . デイサービス通信等を利用し、啓発を行った

## 3 事故防止への取り組み

- (1) 苦情対応・介護及び車両事故事例・ヒヤリハット事例の収集・分析及び改善策の策定に取り組んだ。
- (2) 事故防止策及び緊急時対応マニュアルの見直しを行った。
- (3) 緊急時対応についての研修 . . . . . 中止

## 4 広報活動

- (1) 社協広報誌「福祉のひろば」、ホームページ、地元新聞、コミュニティ放送等を活用した利用者への PR . . . . . 福祉のひろば 2020年7月5日第171号の表紙にてかしわハンズを紹介
- (2) 月1回利用者介護者向けのデイサービス通信の発行 . . . . . 各デイサービスで毎月発行
- (3) 地域包括支援センターへの情報提供と PR 活動 . . . . . 随時実施

## 5 介護保険外サービスの実施 (シニアエクササイズさんわを除く)

- (1) 理・美容サービスを近隣の理容店の協力を得て実施した。
  - ① 赤坂山デイサービスセンター . . . . . 141件
  - ② 松波デイサービスセンター . . . . . 127件
  - ③ 北条デイサービスセンター . . . . . 118件

(2) 時間延長サービスを実施した。

- ① 赤坂山デイサービスセンター . . . . . 0件
- ② 松波デイサービスセンター . . . . . 0件
- ③ 北条デイサービスセンター . . . . . 2件

**6 施設の老朽化による大規模修繕**

(1) 北条デイサービスセンター機械浴槽の入替 . . . . . 令和2年8月23日入替完了

(2) 設備修繕は優先順位を考慮し、緊急度の高い修繕を実施した。

- ① 赤坂山デイサービスセンター 雨どい、車庫シャッター豪雪・強風破損修理  
 . . . . . 令和3年3月15日完了

**7 通所事業の見直し**

(1) 事業の効率化を考えた事業全体の検討 . . . 利用定員の見直しを検討した。今後も検討を継続

**8 行事实施内容一覧**

	赤坂山 DS	松波 DS	北条 DS	かしわハンズ
4月	花見ドライブ	花見ドライブ (中止)	花見ドライブ	
5月	お楽しみ レクリエーション	お楽しみ茶話会		
6月	えんま市	ドライブ	ミニえんま市	体力づくり (中止)
7月	民謡流し	松波 ミニぎおん祭り	民謡流し	社会見学 (柏崎博物館)
8月	お楽しみ レクリエーション	お楽しみ茶話会	フラダンス	
9月	敬老会	ミニ敬老会	敬老会	社会見学旅行 (中止) お楽しみ会
10月	運動会	松波ミニ運動会	運動会	
11月	紅葉見学ドライブ	紅葉見学ドライブ	紅葉見学ドライブ	カラオケ体験 (中止) 手洗い講習・ 夢の森公園散策
12月	忘年会	ミニ忘年会	忘年会 ・クリスマス会	クリスマス会
1月	お楽しみ レクリエーション	ミニ新年会	新年会	お菓子づくり
2月	鬼退治ボウル・ 福よこい	白鳥見学ドライブ 節分	節分	
3月	職員余興	振り返りミニ交流 会	送別会 お楽しみ会	体力づくり

### Ⅲ 令和2年度事故発生・苦情受付報告

#### 1 事故発生状況

課	係	件数	事故種別 件数			
			介護	車輛	破損	その他
総務課	総務係	1	0	0	0	1
	経理係	1	0	0	0	1
地域福祉課	地域福祉係	2	0	0	0	2
	生活支援係	9	0	3	1	5
	高柳支所	1	0	0	1	0
	西山支所	1	0	0	0	1
こども支援課	庶務係	0	0	0	0	0
	こども育成係	26	0	0	5	21
訪問事業課	訪問介護係	6	2	4	0	0
	障害福祉サービス係	4	2	1	0	1
	訪問看護係	7	4	3	0	0
介護支援事業課	介護支援係	3	1	1	1	0
	地域包括支援係 包括まちなか	6	1	1	0	4
	地域包括支援係 包括あかさかやま	3	0	0	0	3
通所事業課	赤坂山D S	7	5	2	0	0
	松波D S	10	5	4	1	0
	北条D S	2	0	1	0	1
	シニアエクササイズさんわ	1	1	0	0	0
	かしわハンズ	7	0	1	0	6
合計	※ ( ) 内は令和元年度の実績	97 (188)	21	21	9	46

#### 2 苦情報告の件数及び申し出の主訴

課	係	件数	申出人		
			本人	家族	その他
総務課	総務係	0	0	0	0
	経理係	0	0	0	0
地域福祉課	地域福祉係	0	0	0	0
	生活支援係	0	0	0	0
	高柳支所	0	0	0	0
	西山支所	0	0	0	0
こども支援課	庶務係	0	0	0	0
	こども育成係	5	0	3	2
訪問事業課	訪問介護係	0	0	0	0
	障害福祉サービス係	1	1	0	0
	訪問看護係	0	0	0	0
介護支援事業課	介護支援係	6	0	3	3
	地域包括支援係 包括まちなか	2	1	1	0

	地域包括支援係 包括あかさかやま	4	1	3	0
通所事業課	赤坂山D S	1	0	1	0
	松波D S	4	0	1	3
	北条D S	0	0	0	0
	シニアエクササイズさんわ	0	0	0	0
	かしわハンズ	0	0	0	0
<b>合計</b>	※ ( ) 内は令和元年度の実績	<b>23 (35)</b>	<b>3</b>	<b>12</b>	<b>8</b>

課	係	合計	処遇の内容	職員の言動	制度に係る意見・要望	その他
総務課	総務係	0	0	0	0	0
	経理係	0	0	0	0	0
地域福祉課	地域福祉係	0	0	0	0	0
	生活支援係	0	0	0	0	0
	高柳支所	0	0	0	0	0
	西山支所	0	0	0	0	0
こども支援課	庶務係	0	0	0	0	0
	こども育成係	5	0	2	0	3
訪問事業課	訪問介護係	0	0	0	0	0
	障害福祉サービス係	2	1	1	0	0
	訪問看護係	0	0	0	0	0
介護支援事業課	介護支援係	8	1	4	0	3
	地域包括支援係 包括まちなか	2	0	2	0	0
	地域包括支援係 包括あかさかやま	5	0	4	0	1
通所事業課	赤坂山D S	1	1	0	0	0
	松波D S	5	2	1	0	2
	北条D S	0	0	0	0	0
	シニアエクササイズさんわ	0	0	0	0	0
	かしわハンズ	0	0	0	0	0
<b>合計</b>		<b>28</b>	<b>5</b>	<b>14</b>	<b>0</b>	<b>9</b>

※項目の重複回答あり

#### IV 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止した事業

課	係	予定月	内容
総務課	総務係	4月	日本赤十字社柏崎市地区 協力金とりまとめ説明会
		10月	役職員先進地視察研修会
地域福祉課	地域福祉係		地域福祉活動計画研修会
			第四次地域福祉活動計画策定に向けた懇談会
			地区福祉組織研修会
			地域食事サービスボランティア研修会
			ふれあい総合相談所 市民向け啓発講演会
		4月～	地域で生活する障がい者とボランティアによる料理交流会の開催協力
		4月～	福祉センターこども食堂
		6月	わいわいがやがやフェスティバル
		4月～7月	福祉センターふれあいサロン
		4月～	かしわざきめぐりあい事業 THE EMSEMBLE でアフタヌーンティー
		7月～	かしわざきめぐりあい事業 仲間と一緒に fitness 秋の八石山ハイキング
		12月	かしわざきめぐりあい事業 クリスマス会 (中止し、3月にパーティーを開催)
		1月	かしわざきめぐりあい事業 おとなやでおとなの飲み会
			ボランティアセンター 運営委員先進地視察
		7月～8月	ボランティアセンター サマーチャレンジボランティア
		10月	ボランティアセンター ボランティア入門講座
			ボランティアセンター ボランティアコーディネーター養成講座
			ボランティアセンター 障がい理解講座
		8月	ボランティアセンター ボランティア体験月間
			ボランティアセンター ボランティア大交流会
		地域での除雪を助け合い活動につなげるための懇談会	
	4月～	ふくしの出前講座	
	12月	おせち料理配達事業	
		高柳支所	結の里 季節行事 安全講話
	4月	結の里 季節行事 お花見ドライブ	
	7月	結の里 季節行事 七夕の集い	
	10月	結の里 季節行事 ミニ運動会	
	生活支援係	4月～7月 就労準備支援事業 ぶらっと	
		4月～7月 子どもの学習・生活支援事業	
		第4期市民後見人養成講座	
訪問事業課	訪問介護係	4月～	実習生の受け入れ
	障害福祉サービス係	4月～	同行援護従事者養成研修
介護支援事業課	介護支援係		新潟県介護支援専門員実務研修見学実習機関としての実習生受入れ
通所事業課	赤坂山 DS・松波 DS	4月	行事 花見ドライブ
	北条 DS	6月	行事 ミニえんま市
		9月	行事 敬老会

		10月	行事 運動会
		11月	行事 紅葉見学ドライブ
	かしわハンズ	6月	行事 体力づくり
		7月	行事 納涼会
		9月	行事 社会見学旅行

中止になった職員向け研修会一覧

課	係	予定月	内容
総務課	総務係	12月	管理職対象 ハラスメント研修会
			モラル研修会
地域福祉課	生活支援係		相談支援専門員初任者研修及び現任研修
こども支援課	こども育成係		障がいのある子どもの理解と育成支援研修
訪問事業課	全係共通		他課との合同研修会
			県内外への研修の参加
			課内4事業所合同研修会「ノーリフト研修」
通所事業課	全係共通	5月	交通安全研修会
			メンタルヘルス研修